

平成28年度 第1回

# 社会教育委員の会議

○日 時 平成28年7月27日（水）  
午前10時00分～

○会 場 14A会議室（市役所14階）

宇都宮市教育委員会

# 会 議 次 第

1 開 会

2 あいさつ

3 委員紹介

4 副委員長選出

5 議 事

(1) 報告事項

① 平成27年度「第2次宇都宮市地域教育推進計画」に関する施策事業の実績評価について 【資料1】

② 平成27年度「読書活動推進計画」に関する施策事業の実績評価について 【資料2】

③ 第2次宇都宮市文化振興基本計画について 【資料3】

(2) 協議事項

① 平成28年度栃木県社会教育委員協議会評議員の選出について 【資料4】

② 「うつのみや人づくり推進委員会」への委員の推薦について 【資料5】

6 そ の 他

7 閉 会

## 宇都宮市社会教育委員名簿

任期 平成27年7月1日～平成29年6月30日  
 (※新任委員の任期：平成28年6月1日～平成29年6月30日)

| 区分          | No. | 氏名                   | 役職名等                            | 備考 |
|-------------|-----|----------------------|---------------------------------|----|
| 学校教育<br>関係者 | 1   | いけもり しげる<br>池守 滋     | 宇都宮工業高等学校長（栃木県高等学校長会宇都宮支部）      | 新任 |
|             | 2   | もちだ てるよ<br>持田 光世     | 横川中学校長（宇都宮市中学校長会）               |    |
|             | 3   | いなき みのる<br>稲木 実      | 姿川第二小学校長（宇都宮市小学校長会）             |    |
|             | 4   | いまい まきのり<br>今井 政範    | 認定こども園さくらが丘理事長<br>（宇都宮地区幼稚園連合会） |    |
| 社会教育<br>関係者 | 5   | すやま ひろふみ<br>須山 裕史    | 公益社団法人宇都宮青年会議所理事長               |    |
|             | 6   | くしがち すみえ<br>櫛渕 澄江    | 宇都宮市地域婦人会連絡協議会会長                |    |
|             | 7   | みむら しょうじ<br>三村 松司    | 宇都宮市体育協会副会長                     |    |
|             | 8   | まつもと こうげん<br>松本 弘元   | 宇都宮市文化協会常任理事                    |    |
|             | 9   | はしもと ひろふみ<br>橋本 裕文   | 宇都宮市子ども会連合会顧問                   |    |
|             | 10  | かねだ あつし<br>金田 淳      | 宇都宮市PTA連合会会長                    |    |
|             | 11  | たかはし つとむ<br>高橋 勉     | 宇都宮市地域まちづくり推進協議会幹事              |    |
|             | 12  | かつた けんいち<br>勝田 健一    | 宇都宮市青少年指導員会会長                   |    |
|             | 13  | かとう ふみこ<br>加藤 史子     | 一条中学校魅力ある学校づくり地域協議会地域コーディネーター   |    |
| 家庭教育<br>関係者 | 14  | こいけ みさこ<br>小池 操子     | 宇都宮市親学習プログラム指導者                 |    |
| 学識<br>経験者   | 15  | かわた たかし<br>河田 隆      | 宇都宮共和大学教授                       |    |
|             | 16  | きさき かずたか<br>佐々木 一隆   | 宇都宮大学教授                         |    |
|             | 17  | わかぞの ゆうしろう<br>若園 雄志郎 | 宇都宮大学准教授                        |    |
|             | 18  | ますぶち ゆきお<br>増渕 幸男    | 上智大学名誉教授                        |    |
|             | 19  | こまげ あきお<br>駒場 昭夫     | 市議会議員                           | 新任 |
|             | 20  | かねきき ふみこ<br>金崎 芙美子   | 市議会議員                           | 新任 |

## 平成 27 年度「第 2 次宇都宮市地域教育推進計画」に関する施策事業の実績評価について

## ◎ 趣 旨

平成 25 年 3 月に策定した「第 2 次宇都宮市地域教育推進計画」（以下「本計画」という。）の計上事業における平成 27 年度の事業実績について報告するもの

## 1 計画の位置づけ

本計画は、「第 5 次宇都宮市総合計画基本計画」の分野別計画であるとともに、本市における「人づくり」の指針である「うつのみや人づくりビジョン（宮っこ未来ビジョン）」の基本的考え方や方向性を受けた、社会教育行政において最も基本となる計画である。

**参考資料** 第 2 次宇都宮市地域教育推進計画の概要

## 2 計画の進行管理について（H26. 3. 25 宇都宮市生涯学習推進本部会議において了承）

本計画に関連する各種施策・事業について、事業を所掌する関係課においてその取組実績を定量的に把握・評価を行うとともに、教育委員会の附属機関である「社会教育委員の会議」に報告し、意見を聴取することとし、効果的な推進を図るものとする。

## (1) 進行管理の実施手法

ア 本計画の着実な推進を図るため、各事業における目標に対する進捗度の確認及び今後の方向性について検討を行い、これを調査・集計することで、「基本施策」ごとの評価を実施する。

イ 具体的には、目的を同一にする「事業」を束ねた「施策」について、各事業の進捗状況を踏まえながら評価するものとし、各施策の重点事業を中心に施策の現状と今後の方向性について明示するとともに、それらを取りまとめ、基本施策ごとの評価とする。

ウ 地域教育を取り巻く環境に変化に柔軟に対応しながら、着実に計画を推進するために、適宜、「事業」の追加計上等を行うこととする。

## (2) 評価の実施年度

各年度の目標値に対する実績を踏まえ、毎年度評価を行う。

（平成 25 年度の実績を踏まえ、平成 26 年度から実施）

## (3) 進行管理の実施主体

本計画の計上事業の関係課で構成される「地域教育推進に係る関係課長等会議」において、計画の進行管理を行い、教育委員会の附属機関である「社会教育委員の会議」に報告し、意見を聴取するものとする。

### 3 平成27年度実績評価について

#### (1) 計上事業について

##### ・事業の進捗度について

順調（目標に対し平成27年度の実績が90%以上）

概ね順調（70～90%未満）

順調でない（70%未満）

その他（事業の終了、事業の中止など）

|                                   | 事業数             | 事業の進捗度    |              |             |          |
|-----------------------------------|-----------------|-----------|--------------|-------------|----------|
|                                   |                 | 順調        | 概ね順調         | 順調でない、その他   |          |
| <b>基本施策1 人間力を高める学習環境の充実（人づくり）</b> |                 |           |              |             |          |
| 施策1                               | 主体的な学習活動への支援    | 10        | 5            | 5(1)        | —        |
| 施策2                               | 個人の自立に向けた学習の推進  | 3         | 3(1)         | —           | —        |
| 施策3                               | 成人教育の充実         | 3         | 2            | 1(1)        | —        |
| 施策4                               | 学習活動を支える人々の育成   | 4         | 1            | 3(1)        | —        |
| 施策5                               | 社会の要請に対応した学習の充実 | 4         | 4(1)         | —           | —        |
|                                   | <b>小 計</b>      | <b>24</b> | <b>15(2)</b> | <b>9(3)</b> | <b>—</b> |

※（ ）は重点事業の内数

#### 【基本施策1全体の評価】

基本施策1全体では、大半の事業において順調な進捗である。

その中でも、順調に進んでいる施策2（個人の自立に向けた学習の推進）、施策5（社会の要請に対応した学習の充実）等については、更なる事業の推進に取り組んでいくとともに、概ね順調の割合が多い、施策1（主体的な学習活動への支援）、施策4（学習活動を支える人々の育成）については、より多くの市民に対する学習活動の促進や、地域における学習活動を支える人材の育成を一層推進し、人間力を高める学習環境の充実に取り組んでいく。

|                                      | 事業数                | 事業の進捗度    |             |             |          |
|--------------------------------------|--------------------|-----------|-------------|-------------|----------|
|                                      |                    | 順調        | 概ね順調        | 順調でない、その他   |          |
| <b>基本施策2 家庭・地域における教育活動への支援（絆づくり）</b> |                    |           |             |             |          |
| 施策6                                  | 家庭教育支援の充実          | 3         | 3(1)        | —           | —        |
| 施策7                                  | 学校教育支援の充実          | 3         | 3(1)        | —           | —        |
| 施策8                                  | 地域での育ち・育てを高める環境づくり | 6         | 1(1)        | 5(1)        | —        |
|                                      | <b>小 計</b>         | <b>12</b> | <b>7(3)</b> | <b>5(1)</b> | <b>—</b> |

※（ ）は重点事業の内数

#### 【基本施策2全体の評価】

基本施策2を構成する全ての事業において、概ね順調以上の進捗である。

その中でも、順調に進んでいる施策6（家庭教育支援の充実）、施策7（学校教育支援の充実）については、更なる事業の推進に取り組んでいくとともに、概ね順調の割合が多い、施策8（地域での育ち・育てを高める環境づくり）については、宮っ子ステーション実施校区の拡大により、地域・学校等と連携した子どもたちが心豊かに育まれる環境づくりを一層推進し、家庭・地域における教育活動への支援に取り組んでいく。

|   |                  | 事業数 | 事業の進捗度 |      |           |
|---|------------------|-----|--------|------|-----------|
|   |                  |     | 順調     | 概ね順調 | 順調でない、その他 |
| <b>基本施策3 学習環境を地域活動につなぐ仕組みづくり（地域づくり）</b> |                  |     |        |      |           |
| 施策9                                     | 多様な活動主体間の連携促進    | 6   | 5(1)   | 1(1) | —         |
| 施策10                                    | 地域の課題解決に向けた学習の推進 | 5   | 3(1)   | 2    | —         |
| 施策11                                    | 郷土愛を育む取組の推進      | 3   | 3(1)   | —    | —         |
| 小計                                      |                  | 14  | 11(3)  | 3(1) | —         |
| 総計                                      |                  | 50  | 33(8)  | 9(5) | —         |

※（ ）は重点事業の内数

### 【基本施策3全体の評価】

基本施策3全体では、大半の事業において順調な進捗である。

その中でも、順調に進んでいる施策11（郷土愛を育む取組の推進）については、更なる事業の推進に取り組んでいくとともに、重点事業が概ね順調となっている施策9（多様な活動主体間の連携促進）や、概ね順調の割合が多い施策10（地域の課題解決に向けた学習の推進）については、学んだ成果を活動につなぐ仕組みの活用促進や、地域の課題解決に効果的な学習を一層推進し、学習環境を地域活動につなぐ仕組みづくりに取り組んでいく。

### (2) 平成27年度実績における全体総括

- 関係各課における着実な取組により、全て計上事業が「概ね順調」以上の進捗を見せているとともに、施策についても同様の状況である。
- 今後は、生涯学習センターにおける趣味・教養といった個人の要望と地域課題といった社会の要請の双方の講座のバランスよい実施と、市民の読書活動の活発化、大人に対する人づくりの積極的な啓発などによる「人づくり」、魅力ある学校づくり地域協議会への支援や宮っ子ステーションの全ての小学校区への立ち上げなどによる「絆づくり」、人材バンクを中心とした人材と地域活動をつなぐ仕組み構築と地域の課題解決に向けた学習の推進による「地域づくり」により、計画の基本理念である「学びを通して、豊かな人間性と人と人との絆を育み、地域ぐるみにより、教育活動やまちづくりを支える社会」の実現を目指していく。

### (3) 「施策」の評価について

- 別紙1 「平成27年度第2次宇都宮市地域教育推進計画」に関する「施策の評価」
- 別紙2 「第2次宇都宮市地域教育推進計画」計上事業一覧表

### 4 今後のスケジュール

- 平成28年 7月27日 社会教育委員の会議へ報告
- 平成28年10月 宇都宮市生涯学習推進本部へ報告

## 「平成27年度第2次宇都宮市地域教育推進計画」に関する「施策の評価」

## (1) 基本施策1 人間力を高める学習環境の充実

【施策1】「主体的な学習活動への支援」 10事業（順調：5，概ね順調：5）


## 【施策1の評価】

目標値を超える実績をあげる事業がある等、施策を構成する事業は概ね順調な進捗であるが、参加者が限定される地域課題の解決等に対応した講座に重点を移している生涯学習センター事業や、減少傾向を止めた図書資料の貸出数等については、地域団体との連携強化や事業運営の工夫などに引き続き取り組み、より多くの市民の参加・利用を促進し、主体的な学習活動への支援の充実に取り組む必要がある。

## &lt;重点事業&gt;

## 事業番号1 生涯学習センター事業への参加促進

(指標名：全生涯学習センターにおける講座等の延べ参加人数)

| 平成24年度  |   | 平成27年度<br>※目標値 24,300人 | 平成29年度(目標値) |
|---------|---|------------------------|-------------|
| 21,747人 |  | 21,190人<br>(概ね順調)      | 24,670人     |

【施策2】「個人の自立に向けた学習の推進」 3事業（順調：3）


## 【施策2の評価】

全ての事業において目標値を超える等、個人の自立に向けた学習機会の充実が図られているため、今後も常に目標をクリアできるよう事業の推進に努めていく必要がある。

## &lt;重点事業&gt;

## 事業番号8 生活課題解決型講座の充実

(指標名：全生涯学習センターにおける生活課題解決型講座実施回数)

| 平成24年度 |   | 平成27年度<br>※目標値 76回 | 平成29年度(目標値) |
|--------|---|--------------------|-------------|
| 58回    |  | 77回<br>(順調)        | 80回         |

【施策3】「成人教育の充実」 3事業（順調：2，概ね順調：1）


## 【施策3の評価】

3事業とも概ね順調に進捗しているが、大人に対する人づくり啓発事業については、「うつのみや人づくりフォーラム」の開催に加え、社会総ぐるみによる人づくりの「合言葉」の普及・定着活動など、大人に対し子どもの手本となる行動の実践を促す取組を一層推進する必要がある。

## &lt;重点事業&gt;

## 事業番号11 大人に対する人づくり啓発事業の実施

(指標名：人づくり啓発イベントの来場者数)

| 平成24年度 |   | 平成27年度<br>※目標値 10,000人 | 平成29年度(目標値) |
|--------|---|------------------------|-------------|
| 9,000人 |  | 8,000人<br>(概ね順調)       | 10,000人     |

【施策4】「学習活動を支える人々の育成」 4事業（順調：1，概ね順調：3）


【施策4の評価】

全ての事業において着実に実績を重ね、概ね順調に進捗している中、新制度に移行した生涯学習コーディネーター（Vスタッフ）の活動促進や、まちづくり部門との連携による「社会教育主事」を核とした担当職員の能力開発などにより、学習活動を支える人々の育成に、より一層取り組む必要がある。

<重点事業>

事業番号14 社会教育主事の養成・活用促進

（指標名：社会教育主事有資格職員数）

| 平成24年度 |   | 平成27年度<br>※目標値69人 | 平成29年度(目標値) |
|--------|---|-------------------|-------------|
| 51人    |  | 61人<br>(概ね順調)     | 70人         |

【施策5】「社会の要請に対応した学習の充実」 4事業（順調：4）

【施策5の評価】

「社会の要請に対応した講座の実施」の実績が、計画の最終目標値を上回るなど、各事業の進捗は順調であり、社会の要請に対応した学習機会の充実が図られているため、今後、施策の更なる推進に取り組む必要がある。

<重点事業>

事業番号18 社会の要請に対応した講座の実施

（指標名：生涯学習センターにおける社会的課題を意識した講座数）

| 平成24年度 |   | 平成27年度<br>※目標値28講座 | 平成29年度(目標値) |
|--------|---|--------------------|-------------|
| 17講座   |  | 39講座<br>(順調)       | 36講座        |

※ 社会の要請に対応した学習の推進については、生涯学習課と関係課の連携により効果的な事業推進を図ることとし、関係する学習事業の積極的な周知に取り組んでいく。



## (2) 基本施策2 家庭・地域における教育活動への支援

### 【施策6】「家庭教育支援の充実」 3事業（順調：3）

#### 【施策6の評価】

実績の維持を目標としていた「親学」の推進や家庭教育支援講座が、毎年、目標値を超える実績となるなど、全ての事業において順調に事業が進捗しているため、今後も着実な事業運営等により、家庭教育支援の更なる充実に取り組む必要がある。

#### <重点事業>

#### 事業番号19 「親学」の推進

（指標名：親学出前講座の実施回数）

| 平成24年度 |  | 平成27年度<br>※目標値102回 | 平成29年度(目標値) |
|--------|---|--------------------|-------------|
| 103回   |   | 145回<br>(順調)       | 102回        |

### 【施策7】「学校教育支援の充実」 3事業（順調：3）

#### 【施策7の評価】

魅力ある学校づくり地域協議会による学校教育支援活動を始め、全ての事業において目標値を越える実績を残すなど、順調に事業が進捗しているため、平成29年度の目標値の達成に向け、学校教育支援の充実により一層取り組んでいく必要がある。

#### <重点事業>

#### 事業番号22 魅力ある学校づくり地域協議会活動への支援

（指標名：魅力ある学校づくり地域協議会による学校支援活動数）

| 平成24年度 |  | 平成27年度<br>※目標値890回 | 平成29年度(目標値) |
|--------|---|--------------------|-------------|
| 842回   |   | 901回<br>(順調)       | 930回        |

### 【施策8】「地域での育ち・育てを高める環境づくり」

6事業（順調：1，概ね順調：5）


#### 【施策8の評価】

施策を構成する事業は概ね順調な進捗であるが、重点事業である「宮っ子ステーション事業」については、全校での実施に向けて、地域に応じた放課後子ども教室の立ち上げ支援に取り組むとともに、子どもの家等における児童の良好な生活環境や供給体制の確保など、国の制度改正に適切に対応しながら、今後一層、地域での育ち・育てを高める環境づくりに取り組んでいく必要がある。

#### <重点事業>

#### 事業番号24 宮っ子ステーション事業の充実

（指標名：宮っ子ステーション実施校区数）

| 平成24年度 |  | 平成27年度<br>※目標値66校 | 平成29年度(目標値) |
|--------|---|-------------------|-------------|
| 43校    |   | 50校<br>(概ね順調)     | 66校         |

### (3) 基本施策3 学習成果を地域活動につなぐ仕組みづくり


#### 【施策9】「多様な活動主体間の連携促進」 6事業（順調：5，概ね順調：1）

##### 【施策9の評価】

登録者数が伸びた「人材バンクの構築」をはじめ、各事業が概ね順調以上の実績であるため、今後は、人材登録の更なる促進と、登録された人材と地域活動をつなぐ仕組みの活用促進等により、更なる多様な活動主体間の連携促進に取り組む必要がある。


##### <重点事業>

##### 事業番号29 人材バンクの構築（指標名：人材バンクの登録者数）

| 平成24年度 |  | 平成27年度   | 平成29年度（目標値）    |
|--------|---|----------|----------------|
| 306人   |   | ※目標値631人 | 448人<br>（概ね順調） |

##### 事業番号30 まちづくりセンター事業の推進

（指標名：まちづくり活動へ繋がる講座等の延べ参加人数）

| 平成24年度 |  | 平成27年度   | 平成29年度（目標値）  |
|--------|---|----------|--------------|
| 405人   |   | ※目標値460人 | 488人<br>（順調） |

#### 【施策10】「地域の課題解決に向けた学習の推進」 5事業（順調：3，概ね順調：2）


##### 【施策10の評価】

重点事業である「地域学講座」が全ての生涯学習センターで実施されているなど、各事業が概ね順調以上の実績であるため、今後は、まちづくり等の関係団体との連携による「地域かがやきプロジェクト事業」の更なる活用など、地域の課題解決に効果的な学習の推進に取り組む必要がある。

##### <重点事業>

##### 事業番号35 地域学講座の実施

（指標名：地域学講座を実施する生涯学習センター数）

| 平成24年度 |  | 平成27年度     | 平成29年度（目標値）    |
|--------|---|------------|----------------|
| 1センター  |   | ※目標値18センター | 18センター<br>（順調） |


#### 【施策11】「郷土愛を育む取組の推進」 3事業（順調：3）

##### 【施策11の評価】

重点事業である生涯学習センターで開催される地域学講座の受講者数が最終的な目標値を超えるなど、順調に事業が進捗しているため、講座内容の工夫や地域の各種団体との連携などにより、郷土愛を育む取組を更に推進する必要がある。

##### <重点事業>

##### 事業番号35 地域学講座の実施（指標名：地域学講座の受講者数）

| 平成24年度 |  | 平成27年度   | 平成29年度（目標値）  |
|--------|---|----------|--------------|
| 30人    |   | ※目標値450人 | 550人<br>（順調） |

「第2次宇都宮市地域教育推進計画」計上事業一覧票

基本目標 I 一人ひとりが人間力を高めるため、主体的に学習活動に取り組んでいます。  
基本施策1 人間力を高める学習環境の充実

| 施策                  | 重点 | 区分 | 番号                 | 事業名                | 担当課  | 事業の内容   | 指標名と目標値及び実績                              |        |        |        |        |        | 事業の進捗  | 課題と対応の方向性(H27実績に対して)  |   |
|---------------------|----|----|--------------------|--------------------|--|---|--|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---|---|
|                     |    |    |                    |                    |  |   | 指標名                                      | 年度     | 24     | 25     | 26     | 27     |        |   | 28  |
| 施策1<br>主体的な学習活動への支援 | ○  | 継  | 1                  | 生涯学習センター事業への参加促進   | 生涯学習課  | 学びたいと思っていても仕事や子育てなどで、講座等に参加できない人に参加してもらえるよう、対象となる世代や性別の特性を意識した開催時期や日時、場所の設定、託児の充実など、事業への参加を妨げている要因を取り除くことで、学びたい人が、参加しやすい環境をつくる。   | 全生涯学習センターにおける講座等の延べ参加人数                  | 目標値    | 24,000 | 24,100 | 24,300 | 24,500 | 24,670 | ②概ね順調   | 生涯学習センターにおいては、趣味・教養的な講座から、市民生活に密接に関連した生活課題・地域課題の解決に結びつく講座を重点として多様な講座を実施していく。開催にあたっては日時や学習の手法の検討など、引き続き受講環境を整備することにより、多くの市民が参加できるよう努めるとともに、地域の各種団体や企業などとの連携に配慮する。  |
|                     |    |    |                    | 実績                 | 21,747   | 22,098  | 22,322                                   | 21,190 |        |        |        |        |        |   |   |
|                     |    | 継  | 2                  | 市民ニーズに応じた学習機会の提供   | 生涯学習課  | 市民一人ひとりが学びを通して、人となりが、豊かな人生を送ることができるよう、各生涯学習センター等において、市民が学びたいような、市民ニーズに応じた学びの機会や場を提供する。  | 全生涯学習センターにおける講座等の延べ参加人数                  | 目標値    | 24,000 | 24,100 | 24,300 | 24,500 | 24,670 | ②概ね順調   | 生涯学習センターにおいては、趣味・教養的な講座から、市民生活に密接に関連した生活課題・地域課題の解決に結びつく講座を重点として多様な講座を実施していく。開催にあたっては日時や学習の手法の検討など、引き続き受講環境を整備することにより、多くの市民が参加できるよう努めるとともに、地域の各種団体や企業などとの連携に配慮する。  |
|                     |    |    |                    | 実績                 | 21,747   | 22,098  | 22,322                                   | 21,190 |        |        |        |        |        |   |   |
|                     |    | 拡  | 3                  | 学習情報提供事業・学習相談事業の充実 | 生涯学習課  | 市民一人ひとりが自分にあった学びの機会や場を得られるとともに、生き生きと学ぶことができるよう、指導者、講座、イベント、生涯学習団体、学習施設などの生涯学習関連情報の提供に加え、新たに構築する人材バンクとの連携により提供する情報の充実を図る。<br>また、学習相談や支援を必要とする市民が、最も適した学習等を選択できるようにするため、各生涯学習センター等への学習相談や支援を行う地域教育指導員と市民への学習相談・支援などを行う生涯学習指導員を配置して、学習相談を実施する。 | マナビス登録件数(講座、イベント、施設、団体、人材バンク(講師・地域の担い手)) | 目標値    | 5,327  | 5,430  | 5,654  | 5,827  | 5,991  | ②概ね順調   | 各センターにおけるイベント情報等の登録促進を図るため、担当職員への研修会等を通じて周知徹底を図るとともに、人材バンクの取組を推進するため、「学んだ成果を活かして地域活動を新たに始めたい人」や「自分ができることを活かして地域活動をしたい人」と、「活動者を求めている地域団体」情報の効果的・効率的な登録・活用についての周知啓発に向けた取組を行っていく。また、今後も正確かつ充実した生涯学習情報の収集・提供に努め、市民の主体的な生涯学習活動を推進する。 |
|                     |    |    |                    | 実績                 | 5,209  | 5,030   | 4,818                                    | 4,888  |        |        |        |        |        |   |   |
|                     |    | 継  | 4                  | 市民大学の実施            | 生涯学習課  | 市民の生涯学習における高度で専門的な学習要求に応え、学習機会を提供するとともに、学んだ市民がその成果を地域に還元することで、地域社会の活性化や持続的発展が図れることを目的とし、人間性を培う深い教養を身につけ、変化の激しい社会に対応した豊かな市民生活に資するとともに、地域社会の一員であることを自覚し、自立した市民を育てていくために必要な講座を実施する。  | 市民大学受講者数                                 | 目標値    | 630    | 630    | 630    | 630    | 630    | ①順調   | 市民大学は、市民の生涯学習における高度で専門的な学習要求に応え、講座企画・運営ボランティアスタッフによる市民企画運営型の講座や市内の大学との連携による専門性の高い講座の実施が求められている。また、本市の生涯学習事業の中で唯一の有料講座であることから、心豊かに市民生活を送るための教養講座や、郷土愛を育む地域の文化・歴史講座など、市民の知的好奇心を満たし、生きがいや精神的な豊かさなど市民生活に潤いを与える学習機会を提供する。            |
|                     |    |    |                    | 実績                 | 646  | 615   | 702                                      | 679    |        |        |        |        |        |   |   |
|                     |    | 継  | 5                  | 地域教育メッセの実施         | 生涯学習課  | 学んだことを活かして現在地域で活動を行っている、または、これから行う意欲のある市民活動団体や自主学習グループと市民が交流を通して活動紹介・情報交換をし、今後の活動の活性化や機会づくりの場とするために「地域教育メッセ」を実施する。  | 地域教育メッセ出展団体数                             | 目標値    | 45     | 45     | 45     | 50     | 50     | ②概ね順調   | 同時開催の「うつのみや人づくりフォーラム」との連携を強化するため、一体的な開催による来場者への理解促進を図るとともに、より円滑な運営を目指す。また、引き続き出展団体等の展示スペースの確保と出展団体数の増加に努めるとともに、出展団体と来場者が交流しながら活動紹介や情報交換ができるよう、事業内容の充実に努める。  |
| 実績                  |    |    |                    | 43                 | 36(予定)   | 35  | 34                                       |        |        |        |        |        |        |   |   |
|                     | 拡  | 6  | 読書環境の充実            | 中央図書館              | 市民の誰もが気軽にかつ快適に読書活動を行い、必要な時に必要な情報を適切・迅速に得ることができ、読書活動を通じ市民一人ひとりの人生がより豊かになるよう、ソフト・ハード両面から読書環境の充実に努める。   | 図書資料貸出数(千点)   | 目標値                                      | 4,335  | 4,508  | 4,688  | 4,875  | 5,070  | ②概ね順調  | すべての市民が読書を身近なものと感じ、自主的に読書活動を継続できるよう、地域や他機関との連携を強化し、読書に関心の少ない市民にも本に親しむ機会や場の創出・活用を図る。また、市内で行われるイベント等へ出展するなどし、読書活動の啓発に努める。   |   |
|                     |    |    | 実績                 | 4,169              | 4,027  | 3,928   | 3,935                                    |        |        |        |        |        |        |   |   |
|                     | 拡  | -1 | ICTの導入の促進          | 中央図書館              | 読書環境の向上を図るとともに、市民の読書ニーズに応えるため、インターネット情報提供の強化や蔵書管理の効率化に資する情報通信技術(ICT)の導入を促進する。                        | 図書館のインターネット端末の利用件数(件)   | 目標値                                      | 19,625 | 20,410 | 21,624 | 22,921 | 24,296 | ①順調    | データベースやインターネットなど、電子情報に関して、公衆無線LANを導入するなど市民ニーズに対応できるICT活用環境の整備を図り、利用者の利便性の向上に努める。  |   |
|                     |    |    | 実績                 | 18,515             | 16,230   | 21,168  | 22,047                                   |        |        |        |        |        |        |   |   |
|                     | 継  | -2 | 子どもの読書活動の推進        | 中央図書館              | 読書活動を通じ、子どもたちが、人生をより豊かに生きる力を身に付けられるよう、小中学生への読書支援を継続する一方、読書離れが続く高校生に対して読書推進の充実に努める。                   | 高校生の1か月の読書量(冊)  | 目標値                                      | 1.4    | 1.6    | 1.7    | 1.9    | 2.0    | ①順調    | 読書離れが続く高校生に対し、高校生向けの読書情報誌の発行や読書推進講座の開催、また図書館ホームページの充実、高校生ボランティアによる講座の開催などにより、高校生の読書活動の啓発に努める。   |   |
|                     |    |    | 実績                 | 1.3                | 1.6  | 1.6   | 1.7                                      |        |        |        |        |        |        |   |   |
|                     | 新  | -3 | 図書館の環境整備の推進        | 中央図書館              | 市民ニーズを踏まえた適切なサービスを提供するため、快適で誰もが利用しやすい施設の再整備を行うとともに、効果的・効率的な管理運営に向け体制の充実に努める。                         | 図書館の読書環境に関する利用者満足度  | 目標値                                      | 83.4   | 83.8   | 84.2   | 84.6   | 85.0   | ①順調    | 施設の老朽化への対応やユニバーサルデザインへの配慮、今後求められる図書館機能や市民ニーズを踏まえ、図書館施設の計画的な改修、整備を行う。また、管理運営体制の充実に向け、指定管理者制度の他館への導入を含めて検討を行い、適切に管理運営体制を構築するとともに市民ニーズへの対応や将来にわたり安定した図書館サービスを提供するための職員体制の整備、財源確保に向けた取組等を進める。 |   |
|                     |    |    | 実績                 | 83.0               | 77.0   | 80.4  | 80.0                                     |        |        |        |        |        |        |   |   |
|                     | 拡  | 7  | 図書館レファレンスサービスの活用促進 | 中央図書館              | 市民が求める図書資料を提供し、主体的な学びや課題解決を支援するため、レファレンス事例のデータベースやパスファインダーの作成・提供によるレファレンスサービスの充実と関係機関との連携による活用促進を図る。 | レファレンスに対する利用者満足度(%)   | 目標値                                      | 54.5   | 56.5   | 58.5   | 60.5   | 62.5   | ①順調    | 地域の情報拠点として市民が気軽に相談できる図書館のレファレンス機能のPRや、地域に関する情報発信を行うとともに、職員の資質向上等を図り、市民や地域の課題解決に役立つレファレンス・課題解決型サービスを強化する。  |   |
|                     |    |    | 実績                 | 53.0               | 64.0   | 78.2  | 58.6                                     |        |        |        |        |        |        |   |   |

「第2次宇都宮市地域教育推進計画」計上事業一覧票

| 施策                     | 重点               | 区分   | 番号                        | 事業名                      | 担当課     | 事業の内容  | 指標名と目標値及び実績                    |       |     |        |        |  | 事業の進捗   | 課題と対応の方向性(H27実績に対して) |       |  |
|------------------------|------------------|--|---------------------------|--------------------------|---------|--|--------------------------------|-------|-----|--------|--------|--|---|----------------------|-------|--|
|                        |                  |  |                           |                          |         |  | 指標名                            | 年度    | 24  | 25     | 26     | 27   |   |                      | 28    | 29   |
| 施策2<br>個人の自立に向けた学習の推進  | ○                | 拡  | 8                         | 生活課題解決型講座の充実             | 生涯学習課   | 学びを通じて自らの生活を改善し、より良い豊かな人生が送れるよう、生涯学習センター等において実施してきた。具体的かつ身近な生活課題の解決に資する講座の充実を図る。   | 全生涯学習センターにおける生活課題解決型講座実施回数     | 目標値   |     | 72     | 74     | 76   | 78  | 80                   | ①順調   | 生活課題に関する講座の実施にあたっては、地域の課題やニーズ、社会の要請などを踏まえ、生活課題の解決に資する講座内容の充実を図る。   |
|                        |                  |  |                           | キッズみや参加者数                | 目標値     |  | 200                            | 200   | 200 | 200    | 200    | ①順調  | 職業体験「キッズみや」については、商店街組合と一体的に取り組み、実施協力店舗数が昨年度の40店舗から50店舗に拡大し、参加者数も前年度の190名から218名へと増加するなど、青少年の体験活動の機会の拡充を図ることができた。しかしながら、募集定員の3倍以上の参加申込があり、多くの希望者が参加できない状況にあるため、引き続き、実施協力店舗の拡大や受入人数の拡大に取り組む。また、生涯学習センターにおける青少年対象講座については、社会の要請に対応した講座など、更に内容の充実を図りながら、より多くの青少年が参加できる学習環境を提供するとともに、協働可能な各種団体との連携についても検討していく。 |                      |       |  |
|                        |                  |  |                           | 全生涯学習センターにおける青少年対象講座実施回数 | 目標値     |  | 23                             | 23    | 23  | 23     | 23     |  |   |                      |       |  |
| 青少年活動センター事業の充実         | 子ども未来課           | 青少年活動の拠点施設として、青少年の健全育成、自主的活動及び交流の促進を図るため、青少年を対象とした各種講座等を実施する。さらに、青少年が講座で学んだ成果をその後の地域活動やボランティア活動など様々な機会や場につなぐ事業の充実を図る。  | 青少年を対象とした講座実施回数           | 目標値                      |         | 400  | 400                            | 400   | 400 | 400    | ①順調    | 青少年への体験活動の減少への対応として青少年の直接体験活動の充実を図る。また、中高生などを対象とした居場所の検討として、中高生をはじめとする青少年が活動や交流する「拠点」づくりを行うとともに、「居心地の良い場」だけでなく、「相談できる、情報を手に入れられる場」としてのロビー機能の拡充を図る。                       |   |                      |       |  |
| 実績                     | 387              | 439  | 404                       | 425                      |         |  |                                |       |     |        |        |  |   |                      |       |  |
| 施策3<br>成人教育の充実         | ○                | 拡  | 11                        | 大人に対する人づくり啓発事業の実施        | 教育企画課   | 本市の人づくりに対する意識の高揚を図るとともに、各ライフステージにおける現状や課題を押しえながら、「学び」を通じた人づくりの推進に向け、保護者が集まる機会や事業所等における出前講座や人づくりフォーラムの実施、企業等に対する宮っ子の誓いの普及啓発を行う。さらに、市全体で共有する人づくりの目標を策定し、既存の団体や活動との連携を図りながら、市民一人ひとりの具体的な活動につなげられるよう普及啓発を行う。 | 人づくり啓発イベントの来場者数                | 目標値   |     | 10,000 | 10,000 | 10,000   | 10,000  | 10,000               | ②概ね順調 | 社会総ぐるみによる人づくりの機運を醸成するため、人づくり周知・啓発チラシの配布や、HP、広報「うつのみや」、宮っこだより等の広報媒体を活用し、合言葉のより一層の普及・定着を図るとともに人づくりの活動の中心である大人に対し、子供の手本となる行動の実践を促すため、「(仮称)社会総ぐるみによる人づくり宣言」などの大人の模範的な行動目標の作成の検討を行う。また、「うつのみや人づくりフォーラム」の開催や活動主体間の連携強化を意識した取組により、大人一人ひとりの人づくりへの参加意欲を高め、家庭や地域、学校、企業、行政が一体となった人づくりを推進していく。 |
|                        |                  |  |                           | 実績                       | 9,000   | —  | 10,000                         | 8,000 |     |        |        |  |   |                      |       |  |
|                        |                  |  |                           | 大人のためのモラル向上に係る講座実施回数     | 目標値     |  | 3                              | 5     | 5   | 7      | 10     | ①順調  | 核家族化や共働き家庭の増加に加え、これまで地域活動の担い手であった高齢者の就労割合が増加し、地域コミュニティの脆弱性が顕在化している。そのため、本市輩出の偉人の功績や生き方などから人間力及び道徳観などを学ぶとともに郷土愛の醸成を図り、地域活動にも積極的に取り組む人材を育成するため、大人のモラル向上に係る講座を引き続き開催する。  |                      |       |  |
| 実績                     | 1                | 2  | 5                         | 5                        |         |  |                                |       |     |        |        |  |   |                      |       |  |
| コミュニケーション力向上事業の実施      | 生涯学習課            | 家庭や地域、職場など、日常生活の中で良好な人間関係を築き、各コミュニティ内での会話、情報交換による学びや気づきを促すため、市民大学に設置したコミュニケーション学コースの受講促進や、各生涯学習センター等で実施している講座事業の学習テーマとしてコミュニケーションを取り上げるなど、コミュニケーション力の向上に資する学習機会の充実を図る。         | コミュニケーション力向上に係る講座実施回数     | 目標値                      |         | 4  | 6                              | 6     | 8   | 11     | ①順調    | 市民大学においては、平成22年度よりコミュニケーション学コースを設置し、講座を提供してきたものの、内容が限定的で他のコースと性質を異にしていることから、平成26年度に見直しを図り、コースを廃止した。今後は、主催講座も含め、講座内容の一部に受講者同士の絆づくりや主体的な学びに資する参加型学習を取り入れるなど、運営手法の中で対応していく。 |   |                      |       |  |
| 実績                     | 2                | 5  | 6                         | 7                        |         |  |                                |       |     |        |        |  |   |                      |       |  |
| 施策4<br>学習活動を支える人々の育成   | ○                | 拡  | 14                        | 社会教育主事の養成・活用促進           | 生涯学習課   | 市民の学習活動の推進や、学校・家庭・地域の連携促進のため、講座の企画や地域との連携などの場で、活躍が期待される社会教育主事について、本市の生涯学習・まちづくり担当職員を対象に大学と連携した養成事業を実施するとともに、各生涯学習センター等における活用促進を図る。   | 社会教育主事有資格職員数                   | 目標値   |     | 51     | 60     | 69   | 69  | 70                   | ②概ね順調 | 各生涯学習センターに社会教育主事の配置を目指し、社会教育主事の養成については、講習が宇都宮大学で開催される年度を中心として、職員を派遣する。また、活用については、市民まちづくり部と連携しながら、生涯学習担当職員ミーティングなどを実施し、まちづくり・人づくりに関する情報共有と能力開発を図る。  |
|                        |                  |  |                           | 実績                       | 51      | 45   | 51                             | 61    |     |        |        |  |   |                      |       |  |
|                        |                  |  |                           | 家庭教育サポーター養成事業の実施         | 生涯学習課   | 親力向上を図るため、身近な地域において親同士のネットワーク構築に向けた交流促進を図り、さらに交流機会や学習機会に参加せずに孤立している保護者への対応として、個に応じたきめ細かな支援をボランティアとして行う家庭教育サポーターの計画的な養成を行う。   | 家庭教育サポーター養成講座修了者数              | 目標値   |     | 65     | 80     | 95   | 110   | 125                  | ②概ね順調 | 家庭教育サポーター活動が定期的に行われている地区がある一方、未配置の地区もまだ相当数ある。家庭教育サポーターを全小学校区に複数配置をするため、家庭教育サポーターの養成を引き続き行う。  |
|                        |                  |  |                           | 実績                       | 8       | 65   | 73                             | 85    |     |        |        |  |   |                      |       |  |
| 学校支援ボランティア講座の実施        | 生涯学習課            | 学校支援ボランティアの活動や基礎知識について学習する機会を提供することにより、地域教育活動に興味・関心のある市民が、活動を始める契機になるとともに、すでに活動している市民を対象にレベルアップを図るための講座を実施する。  | 学校支援ボランティア対象講座の参加者数       | 目標値                      |         | 40   | 40                             | 40    | 40  | 40     | ①順調    | 学校教育支援の枠組みの中で必要性や緊急性の高い講座を実施しているところであり、学校支援ボランティアや保護者を対象に、子どもに対する理解を深めるための講座を継続的に開催する。   |   |                      |       |  |
| 実績                     | 38               | 43   | 44                        | 47                       |         |  |                                |       |     |        |        |  |   |                      |       |  |
| 生涯学習コーディネーターの育成        | 生涯学習課            | 各生涯学習センター等において、地域の実態を踏まえた講座を実施するため、講座の企画、運営方法等の学習や生涯学習センターにおける実習を行うことで、講座の企画立案から、広報・実施までを行う人材を育成する。  | 生涯学習コーディネーター養成講座修了者数(単年度) | 目標値                      |         | 14   | 10                             | 10    | 10  | 10     | ②概ね順調  | 平成27年度より新制度(講座企画・運営ボランティアスタッフ)のもと、養成講座を実施した。全生涯学習センターにおいてボランティアスタッフの活動が可能となったことから、今後についても各生涯学習センターとの連携・調整を密にしながら、ボランティアスタッフの活動機会の創出を図っていく。                               |   |                      |       |  |
| 実績                     | 16               | 14   | 0                         | 8                        |         |  |                                |       |     |        |        |  |   |                      |       |  |
| 施策5<br>社会の要請に対応した学習の充実 | ○                | 継  | 18                        | 社会の要請に対応した講座の実施          | 生涯学習課   | 社会の変化に対応した豊かで安心安全な市民生活を送るためには、その時々々の社会情勢に関する知識や教養を習得するとともに、社会的な課題について主体的に考え解決していくことが必要であることから、社会的に必要性の高まっている課題をテーマとし、社会を取り巻く状況について理解を深めるための講座を実施する。  | 生涯学習センターにおける社会的課題を意識した講座数      | 目標値   |     | 21     | 24     | 28   | 32  | 36                   | ①順調   | 社会的課題に関する講座の実施にあたっては、地域のニーズを捉えた講座を地域団体と共催により実施したり、社会の要請に係る所管部署との連携協働により、講座の充実を図っていく。   |
|                        |                  |  |                           | 実績                       | 17      | 27   | 34                             | 39    |     |        |        |  |   |                      |       |  |
|                        |                  |  |                           | ワーク・ライフ・バランスの理解に向けた学習の推進 | 男女共同参画課 | 男女が共に仕事や家庭生活などにバランス良く参画できる社会を目指して、働き方の見直しや家庭・地域への参画促進のため、仕事と介護の両立や男性の家庭参画、女性リーダー養成など講座メニューの充実を図るなど、仕事と生活の調和に向けた普及啓発を行う。  | ワーク・ライフ・バランスの理解に向けた講座等への延べ参加人数 | 目標値   |     | 305    | 335    | 365  | 395   | 430                  | ①順調   | ワーク・ライフ・バランスの実現に向けては、市民への意識啓発だけでなく、企業等における誰もが働きやすい職場環境づくりが重要であることから、管理職や一般社員といった役職等に応じた講座を実施する。  |
| 実績                     | 288              | 248  | 374                       | 632                      |         |  |                                |       |     |        |        |  |   |                      |       |  |
| 人権教育の推進                | 生涯学習課<br>男女共同参画課 | 人権が市民一人ひとりの身近な問題であるとの認識を広め、お互いを尊重し合って生きることのできる地域社会を構築するため、人権教育に関する研修の実施や参加促進、各生涯学習センターが実施する講座事業等の中に人権に関する学習を取り入れるなど、人権意識についての啓発・学習機会を提供する。                                     | 生涯学習センターにおける人権に関する講座実施回数  | 目標値                      |         | 18   | 18                             | 18    | 18  | 18     | ①順調    | 人権に関する研修への参加促進、各生涯学習センターにおける人権に関する講座内容の充実及び開催の促進、各学校との連携強化(講座への参加促進及び保護者への働きかけ等)など、継続的かつ草の根的に推進していく。   |   |                      |       |  |
| 実績                     | 16               | 16   | 17                        | 17                       |         |  |                                |       |     |        |        |  |   |                      |       |  |
| 国際理解教育の推進              | 生涯学習課<br>国際交流プラザ | 言葉やコミュニケーションの壁を超えて、市民と外国人住民が相互に理解することができるよう、自治会や地域コミュニティセンター等と協働し、外国人の地域活動への参画の促進や多文化共生意識の醸成に資する講座を実施するとともに各生涯学習センターなどで実施する講座事業のテーマとして国際理解について取り上げるなど、国際交流と多文化共生に関する学習機会を提供する。 | 国際理解・多文化共生に係る講座実施回数       | 目標値                      |         | 11   | 12                             | 13    | 14  | 15     | ①順調    | 生涯学習センターにおける国際理解教室や地域コミュニティセンターとの共催による多文化共生に向けた講座を実施しており、講座を実施するセンターの拡大と引き続き、学習機会の提供に努め、市民の国際理解・多文化共生について意識醸成を図っていく。   |   |                      |       |  |
| 実績                     | 10               | 11   | 14                        | 16                       |         |  |                                |       |     |        |        |  |   |                      |       |  |

「第2次宇都宮市地域教育推進計画」計上事業一覧票

基本目標Ⅱ 市民が家庭や地域など身近な場所で、積極的に子どもの育ちなどの教育活動に関わっています。  
基本施策2 家庭・地域における教育活動への支援

| 施策                        | 重点 | 区分               | 番号              | 事業名   | 担当課             | 事業の内容   | 指標名と目標値及び実績   |  |       |       |       |       |       | 事業の進捗  | 課題と対応の方向性(H27実績に対して) |  |  |   |
|---------------------------|----|------------------|-----------------|---|-----------------|---|---|--|-------|-------|-------|-------|-------|--|----------------------|--|--|---|
|                           |    |                  |                 |   |                 |   | 指標名   | 年度                                       | 24    | 25    | 26    | 27    | 28    |  |                      | 29   | 進捗度  |   |
| 施策6<br>家庭教育支援の充実          | ○  | 拡                | 19              | 「親学」の推進   | 生涯学習課           | 家庭教育に対する意識の高揚や親力の向上を図るため、保護者が集まる機会を捉えた親学に関する講話等の実施や、人の集まる時間や場所における不特定多数の対象者への親学講座の開催、より多くの市民を対象とした情報誌の発行などを通じ、子育てに必要な知識や子どもとの関わり方などを伝える。          | 親学出前講座の実施回数   | 目標値                                      |       | 102   | 102   | 102   | 102   | 102  | 102                  | ①順調  | 家庭の教育力向上を図るため、「草の根的な親学」を実施することが求められていることから、新規プログラムの開発や講座内容の充実など、満足度と質の高い講座の提供に努めるとともに、企業内研修や生涯学習センター、地域コミュニティセンターなどにおける親学出前講座開催を通して、親学の浸透を図る。  |   |
|                           |    |                  | 20              | 家庭教育支援講座の実施   | 生涯学習課           | 家庭教育に対する意識の高揚を図るとともに親力の向上を図るため、各生涯学習センター等において家庭や親の役割や責任、子どもとの関わり方などについて保護者の気づきを促す講座や子育ての知識や技術を身につけるための講座などを実施する。                                  | 各生涯学習センター・人材かがやきセンターにおける親学講座実施回数  | 目標値                                      |       | 37    | 37    | 37    | 37    | 37   | ①順調                  |  |  | 乳幼児期の親子のふれあい活動と子育て期に応じた学習機会の充実を図ることが求められている。家庭教育講座のさらなる充実を図るため、参加しやすい学習テーマを設定するとともに、参加型学習を積極的に取り入れていく。  |
|                           |    |                  | 21              | 家庭教育サポーターの活動支援  | 生涯学習課           | 身近な地域において親同士のネットワーク構築に向けた交流を促進するため、家庭教育サポーターの活動活性化を目指し、新規の家庭教育サポーターの育成や研修会、情報交換会等を開催する。   | 家庭教育サポーター支援事業の実施回数  | 目標値                                      |       | 2     | 3     | 4     | 5     | 6  |                      |  |  |   |
| 施策7<br>学校教育支援の充実          | ○  | 継                | 22              | 魅力ある学校づくり地域協議会活動への支援  | 生涯学習課           | 地域の実情に応じて「魅力ある学校づくり地域協議会」が活動を円滑に実施できるよう、専門的な視点から全学的な課題への対応を検討するとともに支援策を実施する「魅力ある学校づくり地域協議会支援会議」を通して、活動を支援する。                                      | 魅力ある学校づくり地域協議会による学校教育支援活動数  | 目標値                                      |       | 850   | 870   | 890   | 910   | 930  | ①順調                  | 各小中学校を拠点に、学校、家庭、地域、企業が連携・協力しながら、地域の教育力を生かした学校教育の充実と家庭地域の教育力向上に向けた活動を更に充実させるため、今後も魅力ある学校づくり地域協議会の活動を継続して支援する。 |  |   |
|                           |    |                  | 再               | 学校支援ボランティア講座の実施   | 生涯学習課           | 学校支援ボランティアの活動や基礎知識について学習する機会を提供することにより、地域教育活動に興味・関心のある市民が、活動を始める契機になるとともに、すでに活動している市民を対象にレベルアップを図るための講座を実施する。                                     | 学校支援ボランティア対象講座の参加者数   | 目標値                                      |       | 40    | 40    | 40    | 40    | 40   |                      |  | ①順調  | 学校教育支援の枠組みの中で必要性や緊急性の高い講座を実施しているところであり、学校支援ボランティアや保護者を対象に、子どもに対する理解を深めるための講座を継続的に開催する。  |
|                           |    |                  | 継               | 23  | 「街の先生」事業の推進     | 学校教育課   | 学校教育の充実・改善を図り、地域に開かれ、地域と共に歩む学校の実践を目指すため、そのひとつの手法として、学校における様々な教育活動等に地域の教育力を導入し、地域と連携した教育を実践する。   | 街の先生支援人数(延べ数)                            | 目標値   |       | 5,000 | 5,000 | 5,000 | 5,000  | 5,000                | ①順調  |  |   |
| 施策8<br>地域での育ち・育てを高める環境づくり | ○  | 拡                | 24              | 宮っ子ステーション事業の充実  | 生涯学習課           | 放課後における児童の健やかな育成のため、「子どもの家」と「放課後子ども教室」の2つの事業を一体的に実施し、地域、学校等と連携して、児童の安全安心な居場所を設けるとともに、子どもたちが地域社会の中で心豊かに育まれる環境づくりを進めるため、宮っ子ステーション実施校区の拡大など事業の充実を図る。 | 宮っ子ステーション実施校区数  | 目標値                                      |       | 66    | 66    | 66    | 66    | 66   | ②概ね順調                |  | 放課後子ども教室について、すべての小学校区に放課後児童の安全安心な居場所として設置するため、未設置校区に対しては参考となる先進事例を示すなど、地域に応じた支援を行いながら、立ち上げに向けて、働きかけていく。子どもの家等について、制度改正による対象学年の拡大や親の就労形態等の変化に伴い、児童数が今後も増加することが予想されるため、入所を希望する児童を受け入れられるよう、事業実施場所の確保とクラスに配置する指導員の確保を図りながら、引き続き児童の良好な生活の場の確保に努めていく。 |   |
|                           |    |                  | 再               | 「親学」の推進   | 生涯学習課           | 家庭教育に対する意識の高揚や親力の向上を図るため、保護者が集まる機会を捉えた親学に関する講話等の実施や、人の集まる時間や場所における不特定多数の対象者への親学講座の開催、より多くの市民を対象とした情報誌の発行などを通じ、子育てに必要な知識や子どもとの関わり方などを伝える。          | 親学出前講座の実施回数   | 目標値                                      |       | 102   | 102   | 102   | 102   | 102  |                      | ①順調  |  | 家庭の教育力向上を図るため、「草の根的な親学」を実施することが求められていることから、新規プログラムの開発や講座内容の充実など、満足度と質の高い講座の提供に努めるとともに、企業内研修や生涯学習センター、地域コミュニティセンターなどにおける親学出前講座開催を通して、親学の浸透を図る。 |
|                           |    |                  | 拡               | 25  | 地域教育力向上啓発事業の充実  | 生涯学習課   | 保護者や教育関係者及び地域住民、企業等が子どもに関わる問題を認識し、地域全体の教育力の向上を図るとともに、地域全体で子どもを育てていくことへの共通理解を深めるため、地域学校園の取組などと連携しながら、地域社会を構成する様々な主体が集まる機会などを積極的に活用し、交流型の啓発事業を実施する。 | 地域人材の意識啓発に向けた事業実施回数(魅力協研修会・地域教育力向上フォーラム) | 目標値   |       | 6     | 6     | 6     | 6  | 6                    |  | ②概ね順調  |   |
|                           |    |                  | 継               | 26  | 地域子育て支援拠点事業の推進  | 保育課   | 子育ての相談指導・育児不安の解消を図るため、地域全体で子育てを支援する基盤を形成し、地域における子育て家庭に対する支援を推進する。   | 地域子育て支援拠点(サロン)実施箇所                       | 目標値   |       | 12    | 16    | 16    | 16   | 16                   | ②概ね順調  |  | 平成27年3月に策定した「宇都宮市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、地域バランスや需給状況を踏まえ、適切なサービス提供を推進していく。   |
|                           |    |                  | 継               | 27  | 青少年の居場所づくり事業の充実 | 子ども未来課  | 家庭でも学校でもない地域において、青少年のコミュニティの形成や社会性、自主性を養い、健やかな育成を図るため、地域や関連団体と連携し、身近な地域における居場所づくりを推進する。   | 青少年の居場所設置数                               | 目標値   |       | 22    | 24    | 24    | 24   | 24                   |  | ②概ね順調  |   |
| 継                         | 28 | 市民総ぐるみの環境点検活動の推進 | 生活安心課<br>子ども未来課 | 地域ぐるみによる「子どもの健全育成」や「地域の安全安心」の環境づくりに向け、青少年の非行の未然防止や地域の危険箇所の把握・改善などを行うため、市内39のまちづくり組織が主催し、青少年育成会や防犯ネットワーク組織が幹事団体となり実施する環境点検活動を支援する。 | 環境点検活動の参加者数     | 目標値   |   | 2,700                                    | 2,700 | 2,700 | 2,700 | 2,700 | ②概ね順調 | 地域住民による継続的な自主防犯活動の実施を支援するため、説明会等における環境点検活動の実施方法の丁寧な説明や、活動の結果等を迅速に地域に回答できるよう庁内連携に努めていく。 |                      |  |  |   |
|                           |    |                  |                 |   |                 | 実績  | 2,579   | 2,527                                    | 2,430 | 2,313 |       |       |       |  |                      |  |  |   |

「第2次宇都宮市地域教育推進計画」計上事業一覧票

基本目標Ⅲ 学びを通じて、多様な主体がつながり、様々な場面で地域社会づくりに貢献しています。  
基本施策3 学習成果を地域活動につなぐ仕組みづくり

| 施策                       | 重点 | 区分 | 番号 | 事業名                  | 担当課                 | 事業の内容   | 指標名と目標値及び実績                        |     |    |       |       |       |       | 事業の進捗 | 課題と対応の方向性(H27実績に対して) |   |
|--------------------------|----|----|----|----------------------|---------------------|---|------------------------------------|-----|----|-------|-------|-------|-------|-------|----------------------|---|
|                          |    |    |    |                      |                     |   | 指標名                                | 年度  | 24 | 25    | 26    | 27    | 28    |       |                      | 29  |
| 施策9<br>多様な活動主体間の連携促進     | ○  | 新  | 29 | 人材バンクの構築             | 生涯学習課<br>みんなでまちづくり課 | 多くの市民の参画による地域活動の活性化を図るため、「学んだ成果を活かして地域活動を新たに始めたい人」や「自分ができることを活かして地域活動をした人」と、「活動者を求めている地域団体」などがスムーズにつながるよう、「求める人(団体)」と「求められる人(団体)」をつなぐ双方向性の情報を発信しマッチングさせる機能を有する人材バンクを構築する。 | 人材バンクの登録者数                         | 目標値 |    | 424   | 527   | 631   | 684   | 728   | ②概ね順調                | 市民の主体的な生涯学習活動を支援するため、多様な学習情報の提供に取り組むとともに、学んだ成果を活かしたい人材を支援するため、生涯学習センター職員等への人材バンクに関する実務研修等の実施や、社会教育関係団体との連携強化による「地域人材マッチング機能」の活用など、地域人材の活用機会、活躍の場のコーディネート機能の着実な運用について検討・実施する。                                |
|                          | ○  | 継  | 30 | まちづくりセンター事業の推進       | みんなでまちづくり課          | 地域活動団体や非営利活動団体、企業、行政など各主体の連携体制構築やボランティア団体・NPO法人等の組織基盤強化など多様な支援を行うため、登録団体間の意見交換会やボランティア参加への後押しをする機会、各活動主体の自立化やまちづくり活動の活性化を図るための研修会の開催、多様な主体によるまちづくりシンポジウムの開催などを実施する。       | まちづくり活動へ繋がる講座等の延べ参加人数              | 目標値 |    | 420   | 440   | 460   | 480   | 500   | ①順調                  | 地域まちづくり活動の活性化や多様化している公共的課題の解決を図るため、ボランティア団体等の育成や運営支援を目的とした講座を継続するとともに、事業者等による特性を活かしたまちづくりへの一層の参加を促すよう、これらの主体との連携した講座や交流会を実施していく。  |
|                          | ○  | 新  | 31 | 企業の教育力の活用支援事業の実施     | 生涯学習課<br>商工振興課      | 各生涯学習センター等において地域の企業から講師を招くなどの連携を促進するとともに、企業の地域貢献を支援することにより地域との結びつきを強めるため、それぞれの得意分野を活かして、講師の派遣などが可能な企業を募り、マナビス等への登録、周知を図ることで企業の持つ技術やノウハウなど教育力の活用を支援する。                     | 生涯学習センターにおける企業連携講座数                | 目標値 |    | 16    | 20    | 23    | 27    | 31    | ①順調                  | 生涯学習センター等における講座に、地域の企業の持つ優れた教育力が活かされるよう、既に企業連携の実績がある親学出前講座や各センターの講座等の事例を参考にしながら、企業への協力要請の手法などについて検討するとともに、連携講座の充実を図る。   |
|                          | ○  | 継  | 32 | 社会教育関係団体との連携         | 生涯学習課               | 地域における教育活動の活性化に向け、地域の社会教育活動の牽引役である社会教育関係団体との意見交換や共催事業の実施など緊密な連携を図る。   | 社会教育関係団体との連携事業数                    | 目標値 |    | 8     | 10    | 10    | 12    | 12    | ①順調                  | 多様な学習活動や指導者育成、ボランティア活動などに取り組む社会教育関係団体との連携事業を継続的に実施し、幅広い事業を通して、地域における教育活動の活性化を図る。  |
|                          | ○  | 継  | 33 | みやシニア活動センター事業の実施     | 高齢福祉課               | 豊富な知識や経験を持つシニア世代が、本市の進めるまちづくりや地域福祉の展開に一層活躍できるよう、相談窓口の開設や各種講座や交流会を企画実施するなど、第二の人生を健康でいきいきと暮らすことができるよう支援する。  | みやシニア活動センター延利用者数                   | 目標値 |    | 3,500 | 4,200 | 5,000 | 6,000 | 7,200 | ①順調                  | 多様化する高齢者のニーズに応じたライフスタイルづくりへの支援が必要となっており、関係機関・団体等との連携強化、シニア世代の地域活動等への参加の動機付けとなる情報提供の実施、みやシニア活動センターの認知度向上に向けた周知・啓発活動の実施に努める。  |
|                          | ○  | 継  | 34 | 地域スポーツクラブの育成支援       | スポーツ振興課             | 誰もが、それぞれの体力や年齢、技術、興味・関心、目的に応じて、だれもが、いつでも、いつまでもスポーツを楽しむ生涯スポーツ社会を実現するため、地域住民が主体的に運営し、市民の健康づくりや生きがいづくりに寄与する地域スポーツクラブの設立・運営を支援する。   | 地域スポーツクラブの設立数                      | 目標値 |    | 6     | 9     | 10    | 12    | 12    | ①順調                  | 各地域スポーツクラブは、スポーツ振興に加え、まちづくりやいきがいづくり、健康づくりなどに大きく貢献していることから、新たなクラブ設立に向けた取り組みも含め、各種支援を継続する。こうした中、「市地域スポーツクラブ連絡協議会」において、全クラブが連携した広報活動に取り組むとともに、「とちぎスポーツフェスタ」(平成28年度は県央地区が担当)への事業参加を通して地域スポーツクラブへの参加機運の向上を図っていく。 |
| 施策10<br>地域の課題解決に向けた学習の推進 | ○  | 新  | 35 | 地域学講座の実施             | 生涯学習課<br>みんなでまちづくり課 | 地域住民の協働による地域課題の解決や地域活性化などの地域づくりの取組を促進するきっかけとするため、各地域で作成した「地域カルテ」を基に地域について学び、地域課題や魅力を発見・共有するとともに、郷土愛や住民意識を醸成する「地域学」講座を実施する。  | 地域学講座を実施する生涯学習センター数                | 目標値 |    | 3     | 13    | 18    | 18    | 18    | ①順調                  | 生涯学習担当職員ミーティングや地域かがやきプロジェクトなどを活用し、各生涯学習センターに対して地域学講座を実施するための情報提供や講座の企画・実施などについて支援の充実を図っていく。   |
|                          | ○  | 新  | 36 | 地域課題解決学習プログラムの構築     | 生涯学習課<br>みんなでまちづくり課 | 地域住民の協働による地域課題の解決や地域の活性化など、持続的に発展する地域づくりの取組を促進するために、地域の個別課題解決に向けた学習や各種地域団体の組織体制強化のための学習プログラムを構築する。  | 地域課題解決学習プログラム数                     | 目標値 |    | 0     | 0     | 1     | 2     | 3     | ①順調                  | 地域課題解決学習プログラムについては、地域学講座や、地域ビジョンの作成が各地域で行われていく過程において、地域課題が抽出され、その課題に対応した学習プログラムを構築することが必要であり、各生涯学習センターと緊密な連携を図りながら、地域課題の把握と課題解決に資する講座を着実に実施する。  |
|                          | ○  | 拡  | 37 | 地域かがやきプロジェクト事業の推進    | 生涯学習課               | 地域教育や地域の困りごとなどについて、地域住民が改めて考え、より良い地域を築くための取組に結びつけられるよう、地域学などとの連携を図りながら、「学習」と「活動」の循環を意識した事業を各生涯学習センター等において推進する。  | 地域かがやきプロジェクト活用事業数                  | 目標値 |    | 5     | 8     | 12    | 15    | 18    | ②概ね順調                | 「学習」と「活動」の循環を意識した講座については、各生涯学習センターにおいて、地域の課題や特性を踏まえて、多様な講座が展開されており、地域かがやきプロジェクトの対象となる事業内容の周知・拡大や、まちづくり等の関係団体との連携により、活用の促進を図っていく。  |
|                          | ○  | 継  | 再  | 市民ぐるみの環境点検活動の推進      | 生活安心課<br>子ども未来課     | 地域ぐるみによる「子どもの健全育成」や「地域の安全安心」の環境づくりに向け、青少年の非行の未然防止や地域の危険箇所の把握・改善などを行うため、市内39のまちづくり組織が主催し、青少年育成会や防犯ネットワーク組織が幹事団体となり実施する環境点検活動を支援する。   | 環境点検活動の参加者数                        | 目標値 |    | 2,700 | 2,700 | 2,700 | 2,700 | 2,700 | ②概ね順調                | 地域住民による継続的な自主防犯活動の実施を支援するため、説明会等における環境点検活動の実施方法の丁寧な説明や、活動の結果等を迅速に地域に回答できるよう庁内連携に努めていく。  |
|                          | ○  | 拡  | 再  | 図書館レファレンスサービスの活用促進   | 中央図書館               | 市民が求める図書資料を提供し、主体的な学びや課題解決を支援するため、レファレンス事例のデータベースやバスファインダーの作成・提供によるレファレンスサービスの充実と関係機関との連携による活用促進を図る。  | レファレンスに対する利用者満足度(%)                | 目標値 |    | 54.5  | 56.5  | 58.5  | 60.5  | 62.5  | ①順調                  | 地域の情報拠点として市民が気軽に相談できる図書館のレファレンス機能のPRや、地域に関する情報発信を行うとともに、職員の実質向上を図り、市民や地域の課題解決に役立つレファレンス・課題解決型サービスを強化する。   |
| 施策11<br>郷土愛を育む取組の推進      | ○  | 新  | 再  | 地域学講座の実施             | 生涯学習課<br>みんなでまちづくり課 | 地域住民の協働による地域課題の解決や地域活性化などの地域づくりの取組を促進するきっかけとするため、各地域で作成した「地域カルテ」を基に地域について学び、地域課題や魅力を発見・共有するとともに、郷土愛や住民意識を醸成する「地域学」講座を実施する。  | 地域学講座の受講者数                         | 目標値 |    | 75    | 325   | 450   | 450   | 450   | ①順調                  | 地域学講座等に関わる担当者会議や地域かがやきプロジェクトなどを活用し、各生涯学習センターに対して地域学講座を実施するための情報提供や講座の企画・実施などについて支援の充実を図っていく。  |
|                          | ○  | 継  | 38 | 宇都宮伝統(ふるさと)文化継承事業の推進 | 文化課                 | 次世代を担う子供たちがふるさとに誇りを持ちながら心豊かに成長できるよう、教育活動のなかで、伝統文化を取り入れた活動に取り組んでいる学校に、伝統文化の保存団体・継承者等を講師として派遣し、児童生徒に伝統文化を体験させるなど、地域における伝統継承活動・環境づくり・人材育成等の支援を行う。                            | 「宮っ子伝統文化体験教室」の実施校数                 | 目標値 |    | 10    | 10    | 12    | 12    | 12    | ①順調                  | 宇都宮伝統文化連絡協議会と連携し、講師・体験メニューを増やしていくとともに、よりよい実施方法について検討していく。また、実施校数を増やすための予算確保に努めていく。  |
|                          | ○  | 継  | 39 | 成人式における地域交流事業の推進     | 生涯学習課               | 新成人を、地域を上げて祝い励ますとともに、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことへの感謝の気持ちを持てるようにするため、新成人が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として、地域の特性を活かした教育的意義のある地域交流事業を実施する。  | 新成人アンケートにおける地域交流事業に対する好意的な回答の割合(%) | 目標値 |    | 80    | 80    | 80    | 80    | 80    | ①順調                  | 成人式事業を地域教育の場として有効活用するため、地域及び新成人の企画運営への参加促進と、新成人を成人式後も地域につなげる仕組みづくりを検討していく。また、限られた予算を有効に活用し、地域交流事業の内容を充実させていけるよう、各実施委員会における取組や先駆的な事業・方法等について、情報の共有化を図っていく。   |

第1章 計画について

- 1 計画の必要性**
  - 平成23年3月に発生した東日本大震災以降、「家庭や地域社会における『絆』や「温かて人間的な『つながり』」の大切さが改めて注目されている中、地域教育の役割は益々重要となっている。
  - これまで取り組んできた個人の人間力の向上、地域人材の育成などに加え、学んだ成果を地域につなぐ仕組みづくりなどが求められている。
- 2 地域教育について**
  - 「社会教育行政」が担う「成人教育」、「青少年教育」、「家庭教育支援」、「学校教育支援・連携」を市民生活の基盤である「地域」を意識して行い、社会の要請（公共的課題、地域人材の育成）、地域の活力向上に応える教育
- 3 計画の位置付け**
  - 「第5次宇都宮市総合計画」の分野別計画を実現するための計画であるとともに、本市における「人づくり」の指針である「うつのみや人づくりビジョン（宮っこ未来ビジョン）」の考え方や方向性を受ける本市社会教育行政の基本となる計画
- 4 計画期間**
  - 平成25年度～29年度までの5年間

第2章 地域教育の現状と課題

地域教育を取り巻く状況

□社会情勢の変化

- 少子超高齢社会・人口減少社会の進行
- 東日本大震災以降、地域の絆や人と人とのつながりの重要性を改めて認識
- 人々の生活様式、ニーズ、価値観の多様化・複雑化に伴い公共的活動の担い手となる主体も多様化
- 情報通信技術（ICT）が急速に進歩・普及により日常生活や仕事のあり方、学ぶ環境などが変化

□国・県等の動向

- 中央教育審議会答申（新しい時代を切り拓く生涯学習の振興方策について）（平成20年2月）
- 中央教育審議会第6期生涯学習分科会における「議論の整理（中間とりまとめ）」（平成24年8月）
- 栃木県生涯学習推進計画四期計画「新・とちぎ学びかがやきプラン」の策定（平成23年3月）
- 宇都宮市社会教育委員の会議答申「宇都宮市における今後の『成人教育』のあり方について」（平成22年7月）

これまでの取組の成果と課題

□地域教育推進計画

- 社会貢献活動や地域に目を向けた取組が進展
- ⇒ 学んだ人材が地域活動に参加し、様々な場面で活躍できる環境の整備が必要
- 地域の教育力を活かした学校支援のための人材育成が進み、魅力ある学校づくり地域協議会の活動などは活発化
- ⇒ 地域の子どもは地域で育てるという意識の醸成や地域を構成する主体同士の連携による取組が必要
- 市民の主体的な学習活動に向けた支援や人づくりを推進する基盤の整備
- ⇒ 市民の学ぶ意欲の向上に向けた学習環境の充実が必要

□親力向上支援プラン

- 親同士、親子、異世代間など様々な交流機会が充実
- ⇒ 交流を支える人材の育成や親同士がつながる場・機会の充実が必要
- 中高生から祖父母まであらゆる年代に応じた学習機会を提供
- ⇒ 子どもの成長に応じた家庭教育支援の継続が必要
- 親力向上支援体制の構築
- ⇒ 地域社会総ぐるみの親力向上支援に向けた取組が必要

市民意識調査の結果

- 今の大人に感じる問題（7項目中の順位）
- ルールを守れない大人やモラルのない大人が増えている（H23）81.4%で1位
- 周囲の人や地域とのつながりを持っていない大人が増えている（H23）68.4%で2位
- 近所と親しく付き合っていない市民の割合（H19）64.5% ⇒（H23）68.0%
- 家庭の教育力が低下していると思う市民の割合（H19）83.1% ⇒（H23）70.1%
- 地域の教育力低下を感じている市民の割合（H19）55.6% ⇒（H23）47.5%
- 学んだ知識・技能を活かしている割合（H19）43.8% ⇒（H23）23.7%
- 生涯学習や社会教育の推進のために力を入れること（11項目中の順位）
- 誰でも気軽に参加できるような講座や講演会を増やす（H23）49.3%で1位

今後の地域教育推進の課題

1 学びによる人間力の向上

地域住民一人ひとりが、人間力を高めるための学習環境を整える必要があります。

- 学びに向けた意識醸成が必要
- 参加しやすい学習環境が必要
- 仲間づくりや交流機会の充実が必要
- 社会性や適応力を高める学習機会が必要

2 地域を支える人材の育成

地域社会の牽引役となる人材やまちづくりの主体となる人材の育成を進めていく必要があります。

- 地域社会やまちづくりを支える人材の育成が必要
- 地域課題等に関する学習の充実が必要

3 地域を構成する各主体の支援、連携強化

家庭、学校、地域団体、企業など地域を構成する各主体の教育活動や学びに対する支援、相互の連携強化を図る必要があります。

- 学校・家庭教育支援の充実が必要
- 地域社会全体による教育活動支援が必要
- NPOや市民活動団体などとの協働が必要
- 企業との連携による取組が必要

4 地域における学習成果の活用の促進

地域における学習成果の活用を促進する必要があります。

- 活動へのきっかけづくりが必要
- 学習成果を活かす機会の充実が必要
- 学んだ人材が活動できる循環を促す仕組みづくりが必要

第3章 基本的な考え方

基本理念

市民一人ひとりが、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、以下のとおり基本理念を定める。

『学びを通して、豊かな人間性と人と人との絆を育み、地域ぐるみにより、教育活動やまちづくりを支える社会を実現する。』

基本目標

I 一人ひとりが人間力を高めるため、主体的に学習活動に取り組んでいます。（人づくり）

基本指標①

学習活動をしている市民の割合

43.2%（H23）⇒48.4%（H29）

II 市民が家庭や地域など身近な場所で、積極的に子どもの育ちなどの教育活動に関わっています。（絆づくり）

基本指標②

放課後子ども教室に係る延べ地域活動者数

14,716人（H23）⇒37,438人（H29）

III 学びを通じて、多様な主体がつつながら、様々な場面で地域社会づくりに貢献しています。（地域づくり）

基本指標③

地域活動やボランティア活動に参加している

市民の割合

56.6%（H23）⇒60.0%（H29）

第4章 施策の展開

基本施策1 人間力を高める学習環境の充実

一人ひとりの人間力を高めるため、人間力の構成要素である、個人の「ひとりの人間としての自立する力」と「社会を構成し運営する力」の向上に資する学習環境の充実に向けた施策に取り組みます。

施策1 主体的な学習活動への支援

- 生涯学習センター事業への参加促進 **重点**
- 市民ニーズに応じた学習機会の提供
- 学習情報提供事業・学習相談事業の充実
- 市民大学の実施
- 地域教育メッセの実施
- 読書環境の充実
- 図書館レファレンスサービスの活用促進

施策2 個人の自立に向けた学習の推進

- 生活課題解決型講座の充実 **重点**
- 子どもの体験活動・体験学習機会の充実
- 青少年活動センター事業の充実

施策3 成人教育の充実

- 大人に対する人づくり啓発事業の実施 **重点**
- 大人のためのモラル向上の学習機会の充実
- コミュニケーション力向上事業の実施

施策4 学習活動を支える人々の育成

- 社会教育主事の養成・活用促進 **重点**
- 家庭教育サポーター養成事業の実施
- 学校支援ボランティア講座の充実
- 生涯学習コーディネーターの育成

施策5 社会の要請に対応した学習の充実

- 社会の要請に対応した講座の実施 **重点**

基本施策2 家庭・地域における教育活動への支援

個人が属する家庭をはじめとした、地域を構成する各主体の取組を推進するため、市民の家庭・学校・地域における子どもの育ちなどの教育活動を支援する施策に取り組みます。

施策6 家庭教育支援の充実

- 「親学」の推進 **重点**
- 家庭教育支援講座の実施
- 家庭教育サポーターの活動支援

施策7 学校教育支援の充実

- 魅力ある学校づくり地域協議会活動への支援 **重点**
- （再掲）学校支援ボランティア講座の実施
- 「街の先生」事業の推進

施策8 地域での育ち・育てを高める環境づくり

- 宮っ子ステーション事業の充実 **重点**
- （再掲）「親学」の推進 **重点**
- 地域教育力向上啓発事業の充実
- 地域子育て支援拠点事業の推進
- 青少年の居場所づくり事業の充実
- 市民総ぐるみの環境点検活動の推進

基本施策3 学習成果を地域活動につなぐ仕組みづくり

学習活動とその成果を地域社会における様々な活動に活かす「知の循環」を促進するため、市民の活動の基盤となる各主体間の連携や活動のきっかけとなる地域に目を向ける取組など、学習成果を地域で活かすための施策に取り組みます。

施策9 多様な活動主体間の連携促進

- 人材バンクの構築 **重点**
- まちづくりセンター事業の推進 **重点**
- 企業の教育力の活用支援事業の実施
- 社会教育関係団体との連携
- みやシニア活動センター事業の実施
- 地域スポーツクラブの育成支援

施策10 地域の課題解決に向けた学習の推進

- 地域学講座の実施 **重点**
- 地域課題解決学習プログラムの構築
- 地域かがやきプロジェクト事業の推進
- （再掲）市民総ぐるみの環境点検活動の推進
- （再掲）図書館レファレンスサービスの活用促進

施策11 郷土愛を育む取組の推進

- （再掲）地域学講座の実施 **重点**
- 宇都宮伝統文化継承事業の推進
- 成人式における地域交流事業の推進

第5章 計画の推進

1 計画の進行管理

- 「宇都宮市生涯学習推進本部」において、本計画における取組の進捗状況の確認を行うとともに地域教育推進のための協議・検討を行う。また、進捗状況は「社会教育委員の会議」へ報告し、意見を聴取する。

2 社会の要請の高まりへの対応

- 「宇都宮市生涯学習推進本部」や「社会教育委員の会議」において、社会の要請として必要性の高まっている学習テーマについての協議・検討を行うとともに、そのテーマを所管する関係部局との連携・協働により学習機会の提供に努める。

3 生涯学習振興行政との関係

- 生涯学習振興行政については「宇都宮市生涯学習推進本部」で所管するものとし、全庁的な照会による把握・取りまとめを行い、庁内の情報の共有を図る。

4 計画の推進体制

- より良い地域社会の実現に向けた施策・事業を推進するため、市民、家庭、学校、企業、市民団体など、地域における各主体の特性を認識・尊重しながら、積極的な連携・協働を図る。

## 平成 27 年度「宇都宮市読書活動推進計画」に関する施策事業の実績評価について

## ◎ 趣 旨

平成 25 年 6 月に策定した「宇都宮市読書活動推進計画」（以下「本計画」という。）の計上事業における平成 27 年度の取組実績について報告するもの

## 1 計画の位置づけ

本計画は、本市における「人づくり」の指針である「うつのみや人づくりビジョン（宮っこ未来ビジョン）」や、上位計画である「宇都宮市地域教育推進計画」に基づき人づくりを進める中で、特に読書推進に焦点を当てた個別計画である。

**参考資料 1** 宇都宮市読書活動推進計画の概要

## 2 計画の進行管理について

本計画の各施策・事業について、その取組実績を定量的に把握し、評価を行うとともに、教育委員会の附属機関である「社会教育委員の会議」や「参考人※」に報告、意見を聴取し、効果的な推進を図るものとする。

※参考人：平成 24 年度第 1 回社会教育委員の会議において、「図書館事業は専門性が高く、利用者も多様であり、専門家や身近な利用者の意見聴取が必要である」との意見を受けて設置。宇都宮市地域まちづくり推進協議会、栃木県高等学校教育研究会図書館部会等から推薦を頂いた有識者等（合計 10 人、年 2 回の意見聴取を実施）

**参考資料 2** 平成 28 年度第 1 回 図書館事業に係る意見交換会について

## (1) 進行管理の実施手法

ア 本計画の着実な推進を図るため、基本目標ごとにその達成状況を数値で示した「基本指標」の進捗度の確認及び今後の方向性について検討し、基本目標ごとに評価を行う。

イ 基本目標を実現するための方向性を示した基本施策については、各施策の重点事業を中心に施策の現状と今後の方向性について明示し、評価を行う。

ウ 読書を取り巻く環境の変化に柔軟に対応しながら、着実に計画を推進するために、必要に応じて見直しを行うこととする

## (2) 評価の実施年度

各年度の目標値に対する実績を踏まえ、毎年度評価を行う。

（平成 25 年度の実績を踏まえ、平成 26 年度から実施）



### 3 平成27年度の実績評価について

#### (1) 基本目標の進捗について

|   | H23年度       | H24年度       | H25年度       | H26年度       | H27年度<br>(達成率)                | H29年度<br>目標値 |
|---|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------------------------|--------------|
| <b>基本目標1 多様な図書館サービスを利用するなど、あらゆる市民が読書活動に親しんでいます。</b> |             |             |             |             |                               |              |
| 基本指標①<br>図書館資料の<br>貸出冊数                             | 4,566,016 点 | 4,636,568 点 | 4,447,624 点 | 4,314,443 点 | <b>4,324,674 点</b><br>(86.5%) | 5,000,000 点  |
| 基本指標②<br>図書館の登録率                                    | 33.1%       | 33.5%       | 32.6%       | 32.5%       | <b>32.5%</b><br>(93.9%)       | 34.6%        |

「宇都宮市立図書館利用統計」より

#### 【基本目標1の評価】

図書館資料の貸出冊数については近年減少傾向にあったが、読書推進ガイドブックの配布や全市的なイベントへの参加による図書館のPRなどにより、平成27年度は増加に転じた。

図書館の登録率については、平成27年度の新規登録者は増加したものの、5年間未利用の方の登録削除者数も増加したことから、達成率は横這いの状態である。引き続き、市民の余暇活動や学習活動に繋がる資料・情報の計画的な収集・提供に努めるとともに、図書館の活動を幅広くPRし、利用促進・登録促進に取り組んでいく。

|   | H23年度   | H24年度  | H25年度   | H26年度   | H27年度<br>(達成率)            | H29年度<br>目標値 |
|---|---------|--------|---------|---------|---------------------------|--------------|
| <b>基本目標2 図書館、地域、学校連携のもと、宮っ子が読書活動や学習活動に励んでいます。</b> |         |        |         |         |                           |              |
| 基本指標③<br>高校生の1か月の<br>読書量                          | 1.4 冊   | 1.28 冊 | 1.57 冊  | 1.59 冊  | <b>1.65 冊</b><br>(82.5%)  | 2 冊          |
| 基本指標④<br>子どもの読書に関わるボ<br>ランティアの活動人数                | 1,236 人 | 959 人  | 1,009 人 | 1,081 人 | <b>1,030 人</b><br>(67.6%) | 1,600 人      |

「栃木県教育委員会調査」, 「宇都宮市学校教育課調査」より

#### 【基本目標2の評価】

高校生の1か月の読書量については、高校との連携講座や高校生向けの情報誌「MIYATEEN」の作成などにより高校生への読書推進を図った結果、平成25年度以降は着実に向上しているため、継続的な事業実施により目標の達成に取り組んでいく。

子どもの読書に関わるボランティアの活動人数については、ボランティアの高齢化が著しく、今まで以上に活性化を図る必要があることから、養成講座等の実施によるボランティアの養成と活動継続の支援等に取り組んでいく。

|   | H23年度 | H24年度 | H25年度 | H26年度 | H27年度<br>(達成率)          | H29年度<br>目標値 |
|---|-------|-------|-------|-------|-------------------------|--------------|
| <b>基本目標3 個人や団体、地域それぞれが課題を解決するために、図書館サービスを活用しています。</b> |       |       |       |       |                         |              |
| 基本指標⑤<br>レファレンスに対する<br>利用者満足度                         | 52.6% | 53.0% | —     | 56.2% | <b>57.3%</b><br>(91.5%) | 62.6%        |

「宇都宮市立図書館利用者アンケート」より

【基本目標3の評価】

「レファレンス（調査相談業務）に対する利用者満足度」

課題の解決に役立つ資料・情報の充実と、司書の専門性を活かしたサービス（テーマ別調べ案内の作成・配布、レファレンス事例の公開など）の提供や、レファレンスサービスのPRと強化を図った結果、満足度は年々向上していることから、継続してサービスの充実に取り組んでいく。

|  | H23年度    | H24年度    | H25年度    | H26年度    | H27年度<br>(達成率)             | H29年度<br>目標値 |
|--|----------|----------|----------|----------|----------------------------|--------------|
| <b>基本目標4 市民が高度情報化に対応した資料や設備や、ニーズに応じデジタル情報を活用しています。</b> |          |          |          |          |                            |              |
| 基本指標⑥<br>図書館のインターネット<br>端末の利用件数                        | 21,305 件 | 18,515 件 | 16,230 件 | 21,168 件 | <b>22,047 件</b><br>(73.4%) | 30,000 件     |

「宇都宮市立図書館利用統計」より

【基本目標4の評価】

利用件数はここ数年増加しているが、認知度の高まりにより南図書館にのみ導入している公衆無線LANの利用件数が大幅に増加していることから、既存館についても、平成28年度中に公衆無線LAN環境を整備し、目標の達成に向け取り組んでいく。

|   | H23年度 | H24年度 | H25年度 | H26年度 | H27年度<br>(達成率)          | H29年度<br>目標値 |
|---|-------|-------|-------|-------|-------------------------|--------------|
| <b>基本目標5 図書館の適切な環境整備と運営により、市民が快適に図書館を利用しています。</b> |       |       |       |       |                         |              |
| 基本指標⑦<br>図書館の読書環境に<br>関する利用者満足度                   | 82.0% | 82.9% | 77.9% | 80.4% | <b>80.0%</b><br>(94.1%) | 85.0%        |

「宇都宮市立図書館利用者アンケート」より

【基本目標5の評価】

利用者満足度は順調に推移しているが、中央図書館は施設の老朽化の影響で「施設・設備の満足度」が他の4館に比べて低く、満足度の向上が進んでいないことから、中央図書館の読書環境の向上に取り組んでいく。

## (2) 平成27年度の全体総括

- ・ 市民の読書活動の推進に向けた各種施策を総合的に実施することにより、平成27年度において図書館資料の貸出冊数の減少傾向に歯止めがかかり、各基本目標の達成率も概ね順調となった。
- ・ 今後とも、社会情勢の激しい変化に伴い市民ニーズが多様化し、全国的に貸出数が減少している中、子どもを含むあらゆる市民が読書に親しみ学習に励むためには、時代の流れやニーズに合わせた取組が必要であることから、新刊資料や話題の資料を効率的に購入するのはもとより、図書館を支える人たちとの連携やICT環境の充実、電子書籍の導入の検討などに取り組むとともに、図書館と図書館が実施している様々な取組のPRを進めていく。
- ・ 社会が様々な課題を抱えている現代において、個人や団体、地域がその課題を解決していくためには、図書館が資料の貸出だけにとどまらず、司書の専門性を活かしたレファレンスサービスの充実とPRの強化を図り、図書館が地域の課題解決のための身近な情報拠点となるよう取り組んでいく。
- ・ 幅広い世代にわたる多くの利用者が快適に図書館を利用できるようにするため、施設の老朽化に適切な対応と維持管理を行うとともに、利用者ニーズを捉えた効果的、効率的な管理運営に取り組むことで、誰もが快適に利用できる図書館を目指していく。

## (3) 「施策」の評価について

- ・ **別紙1**平成27年度「宇都宮市読書活動推進計画」に関する「施策の評価」
- ・ **別紙2**平成27年度「宇都宮市読書活動推進計画」に関する事業実績について

## 平成 27 年度「宇都宮市読書活動推進計画」に関する「施策の評価」


## (1) 基本施策 1 市民の読書活動の推進

【施策 1】「さまざまな市民の読書活動の推進」 8 事業（うち重点事業 2）

## &lt;重点事業&gt;


事業番号 1 読書活動ガイドブックの作成・配布

(指標名：読書活動ガイドブックの配布数)

| 平成 24 年度 |   | 平成 27 年度 | 平成 29 年度(目標値) |
|----------|---|----------|---------------|
| —        |  | 13,993 点 | 10,000 点      |

事業番号 6 センター図書室等の地域性や利用者層に合ったサービスの提供

(指標名：事業において図書館資料を利用した関係機関の箇所数)

| 平成 24 年度 |   | 平成 27 年度 | 平成 29 年度(目標値) |
|----------|---|----------|---------------|
| —        |  | 30 箇所    | 32 箇所         |

## 【施策 1 の評価】

「電子情報への対応」として、貴重な地域資料のデジタル化に取り組むなど 8 事業は順調に進捗していることから、さまざまな市民の読書活動の更なる推進に、引き続き取り組んでいく。

【施策 2】「子どもの読書活動の推進」 15 事業（うち重点事業 3）

## &lt;重点事業&gt;


事業番号 14 学校図書館・読書活動の充実

(指標名：学校図書館司書の 1 か月あたりの授業参加回数)

| 平成 24 年度 |   | 平成 27 年度 | 平成 29 年度(目標値) |
|----------|---|----------|---------------|
| 6.7 回    |  | 8.0 回    | 10.0 回        |


事業番号 18 高校生ボランティアによる中・高校生対象のサービスへの参画

(指標名：高校生ボランティアによる講座の参加者数)

| 平成 24 年度 |   | 平成 27 年度 | 平成 29 年度(目標値) |
|----------|---|----------|---------------|
| 19 人     |  | 486 人    | 60 人          |

事業番号 23 読み聞かせボランティア育成事業の強化

(指標名：読み聞かせボランティアの人数)

| 平成 24 年度 |   | 平成 27 年度 | 平成 29 年度(目標値) |
|----------|---|----------|---------------|
| 959 人    |  | 1,030 人  | 1,600 人       |

## 【施策 2 の評価】

「高校生ボランティアによる中・高校生対象のサービスへの参画」をはじめ、各事業の進捗は順調であるが、「読み聞かせボランティアの人数」は目標値を下回っており、ボランティアの養成と活動継続の支援等にさらに取り組んでいく。

【施策3】「レファレンス・課題解決型サービスの強化」 5事業

＜重点事業＞

事業番号24～28

(指標名：図書館においてレファレンスサービスを使用した利用者の割合)

| 平成24年度 |   | 平成27年度 | 平成29年度(目標値) |
|--------|---|--------|-------------|
| 73%    |  | 72.5%  | 80%         |

※レファレンスサービス：資料・情報を求める利用者に対して、提供する文献の紹介・提供などを援助するサービス

【施策3の評価】


情報・サービスの充実など各事業の推進に取り組み、「レファレンスサービスを使用した利用者の割合」は昨年度より上昇したが、目標値を下回っている。引き続きレファレンスサービスについて周知を図るとともに、さらなる利用数の増加に向けて事業を推進していく。

【施策4】「ICTの推進や電子情報の提供」 2事業

＜重点事業＞

事業番号30 図書館におけるICT環境の整備

(指標名：図書館のインターネット端末の利用件数)

| 平成24年度  |   | 平成27年度  | 平成29年度(目標値) |
|---------|---|---------|-------------|
| 18,515人 |  | 22,047人 | 30,000人     |

【施策4の評価】

南図書館では、持ち込みパソコンで無線または有線によりインターネットに接続するサービスを実施しており、利用件数も前年度比1.4倍と大幅に増加している。南図書館以外の図書館への無線LAN環境の整備を求める声も日増しに高まっていることから、中央・東・上河内・河内図書館への公衆無線LANの整備費等を平成28年度予算に計上した。

【基本施策1全体の評価】

市内の高校1年生全員に読書推進ガイドブック「HON-miya」を配布した他、高齢者の暮らしに役立つ資料を集めた「ロングライフコーナー」を新設するなど、市民それぞれのライフステージに応じた読書環境の充実が図られている。

また、「高校生ボランティアによる講座の参加者数」は目標値を大きく上回る一方で、読み聞かせボランティアの育成など、市民との読書推進体制の強化に取り組む必要がある。

また、「レファレンス・課題解決型サービスの強化」においては、さらなる充実に向けて事業を推進していく。


(2) 基本施策2 適切な図書館運営や環境の整備

【施策5】「効果的・効率的な管理運営体制の充実」 3事業（うち重点事業1）

＜重点事業＞

事業番号31 管理運営体制の充実

（指標名：図書館の読書環境に関する利用者満足度）

| 平成24年度 |   | 平成27年度 | 平成29年度(目標値) |
|--------|---|--------|-------------|
| 82.9%  |  | 80%    | 85.0%       |

【施策5の評価】

平成23年に新設された南図書館との比較により、特に中央図書館は空調やトイレ等の環境改善を求める意見が多数寄せられており、利用者満足度は年々低下している。施設・設備の老朽化によるものと考えられることから、老朽化対策を図る必要がある。

【施策6】「施設の再整備の計画的な推進」 1事業（重点事業0）

【施策6の評価】

施設の老朽化に伴い、施設の年数（中央図書館は35年、河内図書館は30年等）に応じたメンテナンスを計画的に実施する。

まずは、中央図書館の空調設備改修工事を実施し、快適な読書環境を整備する。

【基本施策2全体の評価】

施設については、計画保全のもと定期的に診断を行い、緊急性の高い部分から修繕を行っている。

引き続き、施設の再寿命化への対応や管理運営体制の充実など、市民にとってより使いやすい図書館になることを目指し、読書環境の整備に努める。

基本施策1 市民の読書活動の推進

施策1 さまざまな市民の読書活動の推進

| 事業番号 | 事業名<br>事業概要   | 方向性        | 担当課           | 平成27年度の実績  |
|------|---|------------|---------------|--|
| 1    | <p><b>読書活動ガイドブックの作成・配布</b></p> <p>市民の読書活動の啓発と支援をするため、図書館登録率の向上と図書館サービスの利用促進を図れるよう、本市図書館のさまざまなサービスを紹介する「H o n - m i y a」を作成・配布</p>                                       | 新規<br>【重点】 | 全図書館          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設の他、市内194箇所で行き続き配布を実施</li> <li>・市内の高校1年生全員（5,593人）に配布</li> </ul>  |
| 2    | <p><b>図書館まつりの開催</b></p> <p>市民の読書活動のきっかけづくりのため、関係団体・機関や地域事業と連携を図りながら、図書館施設を有効活用し、読書推進に関する事業を展開します。</p>   | 継続         | 南図書館<br>河内図書館 | <p>4月26日 南図書館子どもフェスティバルを開催<br/>子どもの日に併せたイベント。内容は、原早織さん、塚田果那さんのフルート、菊地由記子さんのピアノによる「赤ちゃんから楽しめる音楽会」、司書の仕事体験、種まき体験、おはなし会スペシャル、お茶会など（参加者 約4,600人）</p> <p>11月15日 南としょかん祭を開催<br/>地元企業の協賛による、地域と連携した年に1度の大型イベント<br/>内容は、白鷗大学ハンドベルクワイアコンサート、歴史講座、おはなし会スペシャル、本のリサイクル市、宇都宮工業高校「ロボットとあそぼう」など（参加者 約6,000人）</p> <p>10月3日～4日 かわち図書館まつりを開催<br/>二胡とピアノの演奏会、ミニツリー作り、マジックショー、マグネット作成、缶バッジの配布など<br/>（参加者 約1,900人）</p>  |
| 3    | <p><b>読書活動の啓発事業の実施</b></p> <p>読書活動の啓発を図るため、「フェスタ・my・うつのみや」「子どもフェスタ」など全市的なイベントに加え、民間事業者との連携を図り、商業施設などで読書活動推進出前講座を行います。また、「子ども読書の日（4月23日）」などに行われる関連事業を集約し、市民へ情報発信します。</p> | 新規         | 全図書館          | <p>4月25日～26日 「ファインフィールドフェスティバル2015」に参画（参加者 人形劇140人、点字体験75人、図書館クイズラリー90人、おはなし玉手箱スペシャル34人、）（中央図書館）</p> <p>4月～3月 「サイエンスらいおんカフェ」（とちぎサイエンスらいおんプロジェクト主催）において出張貸出（東図書館）（計10回）</p> <p>5月17日 フェスタ my 宇都宮2015へ出展（出張貸出や図書館クイズなど約100人）（中央・東・南図書館）</p> <p>5月～7月 宇都宮市民芸術祭の会場で、関連図書資料案内チラシを配布</p> <p>6月 「ミヤ・サンセットジャズ」で図書館PR映像をオリオンスクエアのスクリーンに映写</p> <p>9月～11月 宇都宮ジュニア芸術祭の会場で、関連図書資料案内チラシを配布</p> <p>10月10日 宮っこフェスタ2015へ出展（参加者 おはなし会20人、かんたん工作59人）（中央・東・南図書館）</p> <p>10月25日 「子どものもりフェスティバル」（冒険活動センター）に「森のおはなし会」で参加（参加者128人）（南図書館）</p> <p>11月 8日 「百人一首ゆかりのまち 宇都宮ウォークラリー」で、百人一首関連図書資料案内チラシを配布</p> <p>11月28日 「人づくりフォーラム」へ参加（南図書館）<br/>おはなし玉手箱スペシャル（参加者39人）</p> <p>1月10日 成人式 読書推進リーフレットを作成・配布</p> |

「宇都宮市読書活動推進計画」に基づく平成27年度の事業実績について

|   |  |        |                     |  |
|---|--|--------|---------------------|--|
| 4 | <b>カフェトーク（合同読書会）の開催</b>  | 新規     | 中央・南・河内図書館          | 6月6日 「大人が絵本に出会うとき」（参加者25人）（南図書館）   |
|   | 市民の読書活動の充実のため、既存の読書会などと連携を図りながら、読書の楽しみを共有する機会を設けます。  |        |                     | 6月14日 「蓄音機で巡る懐かしき昭和の思い出」（参加者65人）（河内図書館）<br>9月26日 「もっと知りたい妖精のこと」（参加者20人）（南図書館）<br>10月14日 「ガス管で万華鏡をつくろう」（参加者7人）（中央図書館）<br>11月15日 「印象派の画家とその作品について」（参加者10人）（中央図書館）<br>3月5日 「昼下がりのビートルズ」（参加者32人）（南図書館） |
| 5 | <b>ビブリオバトル（知的書評合戦）の実施</b>  | 継続     | 中央・南図書館             | 6月28日 第1回ビブリオバトル（発表者7人、聴衆50人）（南図書館）  |
|   | 人と本をつなぐため、おすすめの本の紹介を、市民を前に行い「もっとも手にとってみたい、読んで見たい本」を市民が選び、上位入賞者を決定します。  |        |                     | 11月6日 高校ビブリオバトル（宇都宮工業高校と宇都宮南高校との連携）（発表者4人、聴衆41人、司会1人、教職員4人）（南図書館）<br>11月8日 MIYATEEN 編集委員の企画・運営によるビブリオバトルを実施（発表者9人、聴衆42人）（中央図書館）<br>2月7日 第2回ビブリオバトル（発表者7人、聴衆35人）（南図書館）                              |
| 6 | <b>センター図書室等の地域性や利用者層に合ったサービスの提供</b>  | 継続【重点】 | 中央・東・南図書館、地区市民センター等 | ・一部の生涯学習センター図書室において、センターで開催する事業に関連した資料を用意することにより、講座の充実及び図書館資料の利用を促進（講座連携実績 30講座に資料提供）  |
|   | 生涯学習センター図書室等の利用促進を図るため、地域性や利用者層を考慮するなどして、図書の内容の充実を図ります。また、センターで開催する事業の内容に合った図書の展示や情報の提供など、センター事業と連携した業務を工夫し、相乗効果を図ります。 |        |                     |  |
| 7 | <b>さまざまな利用者への情報提供の充実</b>   | 拡充     | 全図書館                | ・あかちゃんタイム全館で実施<br>102回実施 おはなし会参加者 乳幼児1,415人 保護者1,342人  |
|   | 図書館において、さまざまな市民が必要とする資料・情報を入手できるように、関係機関との連携や利用案内の充実など、読書環境の整備を推進します。  |        |                     | ・12月6日 障がい者週間に合わせ、手話つきおはなし会を週間中の日曜日に実施（参加者32人）（南図書館）<br>・障がい者サービスとして、利用者ニーズにあわせた資料提供に努めるとともに、音訳資料の媒体をテープからダイジーへ移行開始（中央図書館）<br>・毎月第2日曜日に小さい子向け手話つきおはなし会を実施（参加者222人）（南図書館）                           |
| 8 | <b>電子情報等への対応</b>   | 継続     | 全図書館                | ・3月に国立国会図書館歴史的音源配信提供サービスを開始（南図書館）  |
|   | 市民の情報収集の支援と図書館の資料保存の機能強化を図るため、図書館情報システムの基幹ソフトウェアの更新に合わせ、電子情報及びデジタルアーカイブの導入検討を行います。                                     |        |                     | ・貴重な地域資料のデジタル化を実施（中央図書館）   |

【重点事業の目標値】

事業番号1 読書活動ガイドブックの作成・配布

| 指標名            |     | 平成23年度 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度  | 平成27年度  | 平成28年度  | 平成29年度  |
|----------------|-----|--------|--------|--------|---------|---------|---------|---------|
| 読書活動ガイドブックの配布数 | 目標値 | —      | —      | —      | 10,000点 | 10,000点 | 10,000点 | 10,000点 |
|                | 実績  | —      | —      | —      | 8,400点  | 13,993点 |         |         |

※「宇都宮市読書活動推進計画」より

事業番号6 センター図書室等の地域性や利用者層に合ったサービスの提供

| 指標名                      |     | 平成23年度 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 |
|--------------------------|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 事業において図書館資料を利用した関係機関の箇所数 | 目標値 | —      | —      | 8箇所    | 14箇所   | 20箇所   | 26箇所   | 32箇所   |
|                          | 実績  | —      | —      | 6箇所    | 24箇所   | 30箇所   |        |        |

※宇都宮市立図書館調査より



「宇都宮市読書活動推進計画」に基づく平成27年度の事業実績について

施策2 子どもの読書活動の推進

| 事業番号 | 事業名   | 方向性        | 担当課           | 平成27年度の実績   |
|------|---|------------|---------------|---|
|      | 事業概要  |            |               |   |
| 9    | <p><b>妖精ミュージアムにおける絵本の読み聞かせ</b></p> <p>子どもの読書推進とミュージアムの利用促進を図るため、妖精ミュージアムにおいて、来館者に対し定期的に読み聞かせを実施します。</p>   | 継続         | 文化課           | ・毎月第4土曜日に絵本の読み聞かせを実施<br>月1回 計12回実施  |
| 10   | <p><b>「家読（うちどく）」の推進</b></p> <p>家族で本を読んでコミュニケーションし、「家族の絆づくり」することを目的として「家読」の啓発を行います。</p>  | 継続         | 学校教育課<br>全図書館 | 【市の取組】学校図書館司書研修による「家読」を推進<br>【学校の取組】「学校図書館だより」を全校で発行・配付   |
| 11   | <p><b>親学情報誌の発行</b></p> <p>家庭教育に対する意識の高揚や親力の向上を図るため、より多くの市民を対象とした情報誌の発行により、子育てに必要な知識や子どもとの関わり方などを伝えるとともに、読書についての情報や本の紹介などを掲載します。</p>   | 継続         | 生涯学習課         | ・中学校3年生までの子どもをもつ保護者と児童・生徒を対象に年2回（7月・2月）、1号あたり67,000部発行し、保育園や幼稚園、認定こども園、学校等を通して配付<br>・7月 第9号「ほめて」伸ばす くらべない あせらない まってみる<br>2月 第10号家庭教育支援者とともに考える「子どものたくましさ」をテーマに発行  |
| 再    | <p><b>読書活動の啓発事業の実施（再掲）</b></p>  | 新規         | 全図書館          |   |
| 12   | <p><b>子どものためのレファレンスや調べ学習への支援</b></p> <p>図書館の児童カウンターにおいて、子どもへの相談対応や資料紹介、調べ方の案内などの支援を行うために、日常的な問合せや学校等の図書館の団体利用に対応し、子ども向けパスファインダーの作成配布等を行います。</p>                             | 拡充         | 全図書館          | ・図書館見学等の受入れ（5館合計 27校, 992人）<br>・学校希望図書利用実績<br>小学校27, 144冊, 中学校3, 938冊, 適応支援教室157冊<br>・子ども向けパスファインダー1点作成 「日光」  |
| 13   | <p><b>「うつのみやこども賞」事業の実施</b></p> <p>受賞作品を通して、子どもの読書活動を啓発するため、日本の作家が創作した新作児童文学作品を対象に、市内の小学5, 6年生公募委員が、その年一番友だちに薦めたい本を選び賞を授与する事業を行います。（子どもによる創作児童文学の評価という点で、日本で唯一の事業です。）</p>    | 継続         | 中央図書館         | 4月～ 第32回（平成27年度）うつのみやこども賞選定員委員募集<br>5月10日 うつのみやこども賞選定委員説明会<br>5月10日 第31回うつのみやこども賞表彰式及び受賞記念講演会<br>受賞作品「ロード キャンピングカーは北へ」山口理氏（参加者84人）<br>6月 7日 第32回うつのみやこども賞第1回選定会議<br>※毎月第1日曜日に年間10回の選定会議を開催し、毎月「うつのみやこども賞だより」を発行<br>3月 6日 第32回うつのみやこども賞決定<br>受賞作品「ひみつの校庭」吉野万理子・著 学研プラス |
| 14   | <p><b>学校図書館・読書活動の充実</b></p> <p>児童生徒の主体的、意欲的な読書活動を充実するため、「宇都宮市学校教育スタンダード」に基づき、全校一斉読書や読み聞かせ、ブックトーク等を実施します。<br/>また、学校図書館司書業務嘱託員及び地域学校園司書業務嘱託員による図書を利用した授業支援を実施します。</p>         | 継続<br>【重点】 | 学校教育課         | 【市の取組】<br>・学校図書館司書研修による読書活動の推進や司書の授業参加を促進<br>【学校の取組】<br>・学校図書館教育に関する校内指導体制を全校で整備<br>・学校図書館司書の授業参加を全校で推進<br>【参考】1か月当たりの読書量（27年度実績）<br>・小学生 29.7冊, 中学生10.3冊   |
| 15   | <p><b>学校図書館の整備・充実</b></p> <p>児童生徒が自ら学ぶ学習・情報センターとしての機能と、豊かな感性や情操をはぐくむ読書センターとしての機能を発揮する学校図書館を目指し、常に最新の情報や本を利用できるよう、さらなる蔵書の充実を図るとともに、十分な機能が果たせるよう、利用しやすい学校図書館の整備充実に取り組みます。</p> | 継続         | 学校教育課         | 【市の取組】<br>・学校図書館調査を毎月実施（年2回提出）、読書アンケートを11月に実施<br>【学校の取組】<br>・市立南図書館との連携として、巡回図書の活用を全校で実施、団体・希望図書貸出の活用を貸出希望校で実施<br>・地域学校園内の学校図書館の連携として、希望図書の相互貸借を各学校園内の実情に応じて実施、図書館の整備を園内の司書が分類表示や環境整備等を相互に協力して実施  |

「宇都宮市読書活動推進計画」に基づく平成27年度の事業実績について

|    |  |            |        |   |
|----|--|------------|--------|---|
| 16 | <p><b>学校図書館司書業務嘱託員等の育成</b></p> <p>学校の教育活動全体を通じ、学校図書館を計画的に利用しその機能の活用を図るため、校内協力体制を確立し、司書教諭及び学校図書館司書業務嘱託員、地域学校園司書業務嘱託員に対して、学校図書館の運営や活用を図るための研修会等を開催し、能力向上を図ります。</p>   | 継続         | 学校教育課  | <p>【市の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校図書館司書研修を、年8回実施（市教育センターや市立図書館との共催を含む。）</li> </ul> <p>【学校の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域学校園内研修を、年2回地域学校園ごとに実施</li> </ul>  |
| 17 | <p><b>図書館と学校図書館の連携の充実</b></p> <p>小中学生の読書活動、学習活動を支援するため、学校図書館司書業務嘱託員等と連携し、学校と南図書館とを結ぶ集配車や学校支援システム等のネットワークを活用して、学校巡回図書や学校希望図書の貸出、ブックリストなどの情報提供、レファレンス等を行います。</p> <p>また、教師の教育活動の充実を図るため、教職員向けに教育関連資料を充実させ提供します。</p> | 拡充         | 南図書館   | <ul style="list-style-type: none"> <li>南図書館の学校支援室において、全市の小中学校及び適応支援教室を対象に、支援事業を実施</li> <li>学校巡回図書 4月22日～3月11日（40冊の本のに入ったブックパックを、毎週全小中学校に巡回させる事業）</li> <li>学校希望図書 4月～2月（学校が授業や読書活動で使う図書を、希望のテーマに応じてそろえて貸し出す事業）</li> </ul> <p>平成27年度利用数 小学校 70校 1,365件 27,144冊<br/>中学校 23校 293件 3,938冊</p> <p>教職員・学校司書向けに、「選書パック」「ブックトーク・読み聞かせパック」「読書指導・学校図書館づくり」の貸出を開始</p> <p>貸出件数 6件87冊</p> <p>教職員への支援として、授業で使うCDの貸出を開始</p> <p>貸出件数 5点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教職員・学校司書を対象に、学校での実践に役立つ講座を開催</li> <li>4月7日 学校図書館司書業務嘱託員新任者研修会（参加者13人）</li> <li>4月14日 学校図書館司書業務嘱託員全体研修会（参加者94人）</li> <li>10月1日 小・中学校図書館関係者研修会（参加者95人）</li> </ul> |
| 18 | <p><b>高校生ボランティアによる中・高校生対象のサービスへの参画</b></p> <p>高校生の図書館に関する認知度を高めるとともに、同世代の読書活動を効果的に進めるため、高等学校と連携し、高校生ボランティアによる講座の開催等の事業を行います。</p>   | 拡充<br>【重点】 | 東・南図書館 | <ul style="list-style-type: none"> <li>8月5日 宇都宮白楊高校・科学部による科学体験教室（参加者427人）</li> <li>2月27日 宇都宮工業高等学校と連携し、高校生が講師の小中学生向けものづくり教室「作ってみよう！組子細工」を実施（参加者 小学生17人）（南図書館）</li> </ul> <p>（参考）平成23年度 LEDのクリスマスイルミネーションづくり<br/>平成24年度 ログハウス貯金箱づくり<br/>平成25年度 メロディー時計づくり<br/>平成26年度 ログハウス型貯金箱を作ろう！</p>  |
| 19 | <p><b>高校生の本や読書に関する情報交換・発信事業の実施</b></p> <p>高校生の読書活動啓発のため、市全域から高校生ボランティアを募り、高校生が高校生に薦める推薦図書等を掲載した情報誌「MIYATEEN」の作成・配布を行います。</p>   | 継続         | 中央図書館  | <ul style="list-style-type: none"> <li>6月～ MIYATEEN編集委員募集</li> <li>7月～ MIYATEEN編集会議開催（全4回）</li> <li>11月8日 高校生のための読書推進講座「ビブリオバトル」開催</li> <li>2月 MIYATEEN VOL.7発行</li> </ul>  |
| 20 | <p><b>「高校生のための読書推進講座」の実施</b></p> <p>高校生の読書活動のきっかけづくりと図書館の利用促進を図るため、「MIYATEEN」の作成に携わる高校生による、事業の企画・立案を受け、講座の運営を図るため、図書館と高校生で行います。</p>  | 新規         | 中央図書館  | <ul style="list-style-type: none"> <li>11月8日 高校生のための読書推進講座「ビブリオバトル」開催（発表者9人、聴衆42人）（再掲）</li> </ul>   |
| 21 | <p><b>子どもや中・高校生（ヤングアダルト）向け図書館ホームページの充実</b></p> <p>子どもの読書活動を支援するため、「こどものページ」、「ヤングアダルトのページ」の内容の充実や更新を行うとともに、中・高校生がホームページ作りに参加できる仕組みを作ります。また、関連ホームページへのリンクの充実を図ります。</p>   | 継続         | 全図書館   | <ul style="list-style-type: none"> <li>小学生向けの「調べ学習リンク集」「地域の情報リンク集」などを掲載</li> <li>中高生にお薦めする本ホームページで紹介し、併せて特集コーナーを設置</li> <li>高校生のための読書情報誌「MIYATEEN」を掲載</li> <li>中央生涯学習センター図書室のティーンズコーナー紹介を掲載</li> </ul>  |
| 22 | <p><b>まちかどの学校・つげの木教室、とらいあんぐる（教育センター）への支援</b></p> <p>市内の全ての小中学生に対し読書や調べ学習を支援するため、適応支援教室等に対しても学校支援サービスを実施します。</p>  | 新規         | 南図書館   | <ul style="list-style-type: none"> <li>市内3箇所の適応支援教室に対し、学校希望図書貸出を引き続き実施</li> </ul> <p>平成27年度利用数 1教室 36件 157冊</p>   |

「宇都宮市読書活動推進計画」に基づく平成27年度の事業実績について

|    |  |            |      |  |
|----|--|------------|------|--|
| 23 | <b>読み聞かせボランティア育成事業の強化</b>  | 継続<br>【重点】 | 全図書館 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・おはなしボランティア養成講座 2月5日～3月11日（全6回）（南図書館）（参加者 延べ121人）</li> <li>・各図書館で、読み聞かせボランティアのための勉強会や、読み聞かせや子どもの本に関する講座や講演会を、引き続き開催</li> <li>・おはなしボランティアの意欲向上とボランティア同士の親睦を図るために「5館おはなしボランティア交流会」を開催</li> <li>・ボランティア向けの講座・研修会の情報を、読み聞かせボランティアへ積極的に周知</li> </ul> |
|    | 読み聞かせボランティアの育成と能力向上を図るため、ボランティア養成講座、読み聞かせや子どもの本に関する講座や講演会を実施します。<br>また、ボランティア活動を始めるきっかけ作りのため、ボランティアに興味を持つ市民に対し、簡単な指導を行う場を設けます。 |            |      |  |

【重点事業の目標値】

事業番号14 学校図書館・読書活動の充実

| 指標名                   |     | 平成23年度 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 |
|-----------------------|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 学校図書館司書の1か月あたりの授業参加回数 | 目標値 | —      | —      | 8.5回   | 8.5回   | 9.0回   | 9.5回   | 10.0回  |
|                       | 実績  | 7.0回   | 6.7回   | 7.5回   | 8.0回   | 8.0回   |        |        |

※宇都宮市学校教育課調査より

事業番号18 高校生ボランティアによる中・高校生対象のサービスへの参画

| 指標名                 |     | 平成23年度 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 |
|---------------------|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 高校生ボランティアによる講座の参加者数 | 目標値 | —      | —      | 25人    | 30人    | 40人    | 50人    | 60人    |
|                     | 実績  | 23人    | 19人    | 64人    | 71人    | 486人   |        |        |

※宇都宮市立図書館調査より

事業番号23 読み聞かせボランティア育成事業の強化

| 指標名            |     | 平成23年度 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 |
|----------------|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 読み聞かせボランティアの人数 | 目標値 | —      | —      | 1,310人 | 1,390人 | 1,460人 | 1,530人 | 1,600人 |
|                | 実績  | 1,236人 | 959人   | 1,009人 | 1,081人 | 1,030人 |        |        |

※宇都宮市学校教育課及び宇都宮市立図書館より

施策3 レファレンス・課題解決型サービスの強化

| 事業番号 | 事業名  | 方向性        | 担当課   | 平成27年度の実績   |
|------|--|------------|-------|---|
|      | 事業概要   |            |       |   |
| 24   | <b>地域資料・情報の収集と提供の充実</b>  | 継続<br>【重点】 | 中央図書館 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・明保地区、細谷地区、陽光地区、桜地区、上河内地区の地域データブックを作成・提供</li> <li>・国立国会図書館レファレンス協同データベースに地域関係のレファレンスを73件登録</li> <li>・他課と連携し、講演に関連する地域資料の紹介やちらしを配布</li> <li>4月28日（土）公園管理課「よみがえれ！宇都宮市民の会」通常総会基調講演会「解説浄瑠坂の仇討ち」（参加者140人）</li> <li>9月12日（土）公園管理課 宇都宮城歴史講演会「日光社参と宇都宮城」（参加者204人）</li> <li>3月12日（土）公園管理課 宇都宮城歴史講演会「宇都宮藩と江戸の豪商」（参加者200人）</li> </ul> |
|      | 効果的な地域資料・情報の収集と提供の充実を図るため、所蔵する地域資料の有効活用や望ましい地域資料・情報の収集と提供のあり方を整理するとともに、情報収集・発信にあたっての地域との連携を図りながら、地域課題解決支援のため、事例集等を作成します。 |            |       |   |

「宇都宮市読書活動推進計画」に基づく平成27年度の事業実績について

|    |   |                           |                              |  |
|----|---|---------------------------|------------------------------|--|
| 25 | <p><b>科学・技術・ビジネス情報提供サービスの充実</b></p> <p>科学・技術・ビジネス情報提供のさらなる充実を図るため、うつのみやブランドに関する資料（本市の特色である大谷石や餃子、宮染めなどの関係資料、文献、商品情報等）を収集・提供・保存し、情報発信していくとともに、連携事業を行います。</p> | <p><b>拡充<br/>【重点】</b></p> | <p><b>東図書館</b></p>           | <p>・講座の開催</p> <p>7月4日 うつのみやの魅力再発見「オンリーワンの地酒を目指して」井上裕史氏（井上清吉商店蔵元）（参加者50人）</p> <p>7月11日 化学で光をつくろう 小山工業高等専門学校（参加者21人）</p> <p>7月12日 田原先生のわくわくサイエンス教室（参加者111人）</p> <p>7月29日 パソコンを分解して学ぶ3R 富士通（参加者38人）</p> <p>8月4日 電気つりざお工作とものを凍らせる実験 足利工業大学（参加者32人）</p> <p>8月7日 チリモンをさがせ 帝京大学（参加者30人）</p> <p>8月19日 宇都宮大学との連携イベント（参加者520人）</p> <p>8月25日～26日 けんぴ鏡でミクロの世界を探ろう！ 継国孝司氏（ウエルシーライラボ）（参加者218人）</p> <p>9月5日 うつのみやの魅力再発見「宇都宮餃子のおいしさを伝えるために-餃子の由来と発展の歩み-」鈴木章弘氏（宇都宮餃子会）（参加者30人）</p> <p>9月12日 ロケットを作り、国際宇宙ステーションに行ってみよう 佐藤洋氏（参加者34人）</p> <p>11月14日 うつのみやの魅力再発見「自転車にこめた熱い思い-宇都宮ブリッツェンの歩み-」柿沼章氏（宇都宮ブリッツェン）（参加者50人）</p> <p>1月7日 ダンボールクラフトをつくってみよう（本田技研工業）（参加者70人）</p> <p>1月23日 ダジックアース-デジタル4次元地球儀を楽しもう-藤平昌寿氏（とちぎサイエンスらいおん事務局）（参加者149人）</p> <p>3月26日 田原先生のわくわくサイエンス教室・春（参加者76人）</p> <p>・ビジネス関連の展示</p> <p>2月19日～3月16日 「起業するなら宇都宮ベンチャーズ」企画展 協力：市内10社 連携先：産業振興課（宇都宮ベンチャーズ）</p> <p>3月18日～5月18日 「知的財産をもっと身近に！ものづくり企業の新商品から知ろう！」企画展 協力：市内7社 連携先：栃木県産業振興センター</p> <p>3月30日 発明協会考案のキットを活用した工作教室（参加者30人）</p> <p>・うつのみやブランド展示</p> <p>4月 宇都宮ブランド 5月～6月 レモン牛乳<br/>6月～8月 地酒・ビール・カクテル・/宮祭り・大谷石<br/>9月～10月 餃子 10月～11月 宮ゆず・自転車<br/>12月～ きぶな 1月～ ミヤリー</p> |
| 26 | <p><b>宇都宮プロスポーツアーカイブ事業の充実</b></p> <p>プロスポーツを核としたまちづくりなど地域活性化の視点から、関連資料（図書、雑誌、新聞記事、チームの会報など）を収集・提供・保管し、関連事業を行います。</p>  | <p><b>継続</b></p>          | <p><b>東図書館</b></p>           | <p>・図書・雑誌の収集、関連新聞記事のスクラップ（東図書館）</p> <p>・11月14日 うつのみやの魅力再発見「自転車にこめた熱い思い-宇都宮ブリッツェンの歩み-」柿沼章氏（宇都宮ブリッツェン）（参加者50人）（東図書館）（再掲）</p>   |
| 27 | <p><b>宇都宮アグリビジネスブランド化への支援</b></p> <p>宇都宮の農産物等について市民にPRし理解を深めるとともに、アグリビジネスへの関心を深め、また、地域ブランドの発掘・創造支援のため、関係機関と協力し、関連資料の収集・提供や周知活動を行います。</p>                    | <p><b>新規</b></p>          | <p><b>東図書館<br/>農業振興課</b></p> | <p>・5月23日 2015国際土壌年記念講座「土のひみつをさぐる！」講師 平井英明 宇都宮大学農学部教授 協力：逆面エコ・アグリノ里 田植え・森の土の観察など（参加者57人）</p> <p>・宮ゆず展示（再掲）協力：市内3社</p> <p>・10月31日 アグリビジネス支援講座「北限のゆずの里・新里～宮ゆずによる地域活性化をめざして～」床井光雄氏（宇都宮ゆず組合）（参加者40人）</p> <p>・11月15日 ゆず狩り体験と市農林業祭見学 床井柚子園（参加者10人）</p>   |

「宇都宮市読書活動推進計画」に基づく平成27年度の事業実績について

|    |   |            |      |  |
|----|---|------------|------|--|
| 28 | 子育て・家庭生活支援情報の充実   | 継続<br>【重点】 | 南図書館 | <ul style="list-style-type: none"> <li>家庭生活支援講座の実施                             <ul style="list-style-type: none"> <li>8月22日 「親子で楽しむじゃれつき遊び」(講師 井上高光氏)(参加者 子ども41人, 大人49人)</li> <li>12月13日 「今日からはじめる断捨離」(講師 こばやしりえ氏)(参加者39人)</li> </ul> </li> <li>家庭生活連携講座を実施。併せて企画展示や関連図書のコーナーを設置。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>6月13日 「花を通して優しい心を育てよう」(講師 藤野佳重氏)(参加者 子ども21人, 大人16人)</li> <li>3月19日 「犬の飼い方教室」(講師 栃木県動物愛護支援センター職員, 宇都宮市保健所職員)(参加者 子ども10人, 大人11人)</li> </ul> </li> <li>企画展示                             <ul style="list-style-type: none"> <li>5月29日～6月12日<br/>テーマ 花育(南図書館除草緑化ボランティア活動紹介展示)</li> <li>8月 8日～8月 9日<br/>テーマ エコ(「あなたの街で伝え隊」ストップ温暖化パネル展)</li> <li>9月17日～9月27日<br/>テーマ 防災(防災パネル展)</li> </ul> </li> </ul> |
|    | 子育てや家庭生活に関する支援サービスを実施し、専門的なレファレンスに対応するため、利用ニーズに即した専門的な資料の収集を行うほか、子育て中の大人を対象とした子育て支援講座や、進路選択のための学校情報提供などを行います。 |            |      |  |

【重点事業の目標値】

事業番号24～28

| 指標名                          |     | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 |
|------------------------------|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 図書館においてレファレンスサービスを使用した利用者の割合 | 目標値 | —      | 74%    | 76%    | 77%    | 79%    | 80%    |
|                              | 実績  | 73%    | —      | 59%    | 73%    |        |        |

※「宇都宮市立図書館利用者アンケート」より

施策4 ICTの推進や電子情報の提供

| 事業番号 | 事業名  | 方向性        | 担当課   | 平成27年度の実績   |
|------|--|------------|-------|---|
|      | 事業概要   |            |       |   |
| 29   | 図書館情報システムの更新   | 拡充<br>【重点】 | 中央図書館 | <ul style="list-style-type: none"> <li>次期システム構築のため、先進地の調査研究を実施</li> </ul>                   |
|      | 円滑な図書館サービスの提供を図るため、図書館情報システム関連機器の更新及び、業務システムの機能向上や利用者サービスの向上を図るため、次期図書館情報システムの構築を図ります。 |            |       |   |
| 30   | 図書館におけるICT環境の整備  | 拡充<br>【重点】 | 全図書館  | <ul style="list-style-type: none"> <li>公衆無線LAN導入に向けた現地調査を実施</li> <li>データベース研修を実施</li> </ul> |
|      | 市民の情報収集を支援するため、図書館に無線インターネット環境等の整備を図るとともに、データベースの利用促進のための研修を行います。                      |            |       |   |

【重点事業の目標値】

事業番号30 図書館におけるICT環境の整備

| 指標名                |     | 平成23年度  | 平成24年度  | 平成25年度  | 平成26年度  | 平成27年度  | 平成28年度  | 平成29年度  |
|--------------------|-----|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 図書館のインターネット端末の利用件数 | 目標値 | —       | —       | 19,000件 | 21,000件 | 24,000件 | 27,000件 | 30,000件 |
|                    | 実績  | 21,305件 | 18,515件 | 16,230件 | 21,168件 | 22,047件 |         |         |

※「宇都宮市立図書館利用統計」より

※平成26年度から無線LANの利用も含む

「宇都宮市読書活動推進計画」に基づく平成27年度の事業実績について

**基本施策2 適切な図書館運営や環境の整備**

**施策5 効果的・効率的な管理運営体制の充実**

| 事業<br>番号 | 事業名  | 方向性        | 担当課           | 平成27年度の実績   |
|----------|--|------------|---------------|---|
|          | 事業概要   |            |               |   |
| 31       | <b>管理運営体制の充実</b><br>効果的・効率的な管理運営を行う上での課題に対応するため、図書館のあり方の見直しや指定管理者制度の導入も含めて検討を行い、よりよい管理運営体制の構築を図ります。          | 継続<br>【重点】 | 全図書館<br>行政改革課 | ・各図書館の役割や特色を踏まえた今後の管理運営のあり方について検討                 |
| 32       | <b>司書の専門性を発揮できる職員体制の整備</b><br>市民や地域の課題解決や児童サービスなどの専門的業務に対応できるよう、必要な司書の確保に努めるとともに司書の能力向上を図る研修を積極的かつ計画的に実施します。 | 継続         | 全図書館<br>人事課   | ・外部研修に積極的に派遣するとともに、図書館内における計画的研修を実施<br>・長期派遣研修を実施 |
| 33       | <b>自主財源確保に向けた取組の充実</b><br>資料等の充実に向け自主財源の確保を図るため、図書館ホームページや図書館カレンダーへの広告事業やリサイクル市等の取組を継続して行います。                | 拡充         | 全図書館          | ・図書館のホームページのバナー広告などの募集やリサイクル市事業を継続実施              |

**【重点事業の目標値】**

事業番号31 管理運営体制の充実

| 指標名                |     | 平成23年度 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 |
|--------------------|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 図書館の読書環境に関する利用者満足度 | 目標値 | —      | —      | 83.0%  | 83.5%  | 84.0%  | 84.5%  | 85.0%  |
|                    | 実績  | 82.0%  | 82.9%  | 77.9%  | 80.4%  | 80.0%  |        |        |

※「宇都宮市立図書館利用者アンケート」より

**施策6 施設の再整備の計画的な推進**

| 事業<br>番号 | 事業名   | 方向性 | 担当課   | 平成27年度の実績   |
|----------|---|-----|-------|---|
|          | 事業概要  |     |       |   |
| 34       | <b>図書館施設の改修・機能向上事業の推進</b><br>全ての市民が安全・快適に施設を利用できるようにするため、また施設・設備の機能向上を図るため、計画的な改修に努めます。 | 新規  | 中央図書館 | ・中央図書館の発電設備、上河内図書館の空調設備及び河内図書館の空調設備等の改修工事を実施<br>・中央図書館に授乳室を設置 |

# 「宇都宮市読書活動推進計画」の概要

## I 計画について

- 1 計画策定の必要性**  
「第1次図書館機能・サービス向上計画」、「第2次子ども読書活動推進計画」を策定し、読書活動の推進等を図ってきたが、電子図書などのICTへの対応や子ども読書のまち宇都宮の更なる推進、さまざまな市民の読書活動への対応や図書館の老朽化などの課題への対応が求められている。
- 2 計画策定の考え方**  
本市における市民の読書活動を総合的に推進していくためには、「図書館機能・サービス向上計画」と「子ども読書活動推進計画」を統合して一体的に推進することが効果的であることから、より大きな概念でのくりによる「(仮称)宇都宮市読書活動推進計画」として改定した
- 3 計画の位置づけ**  
「宇都宮市地域教育推進計画」に基づき人づくりを進める中で、特に本市の読書推進に焦点を当てた個別計画とし、関連する計画等との整合を図るものとする。
- 4 計画の期間**  
平成25年から平成29年までの5年間

## II 本市読書活動の現状と課題

### 1 読書活動を取り巻く状況

- (1) 社会情勢の変化**
  - 高度情報化社会、高齢社会の進展
  - 市民ニーズの高度化・専門化
  - 子どもの読書量の低下
- (2) 国や県の動向**
  - 「図書館法」等の改正による図書館の役割の明確化
  - 報告書による県立図書館像の明確化
- (3) 「第2次宇都宮市地域教育推進計画」**
  - 本計画の上位計画であり、「読書環境の充実」を取り組みのひとつとする。

### 2 これまでの取組の成果と課題

- (1) 第1次宇都宮市図書館機能・サービス向上計画**
  - ◎成果
    - 高度化・専門化するレファレンスへの対応
    - 資料の貸出数・予約数の飛躍的な増加
      - \*貸出数 約1.23倍: 3,784,677点(H19)→4,636,568点(H24)
      - \*予約数 約2.07倍: 264,812点(H19)→550,503点(H24)
    - 南図書館への一部指定管理者導入、管理運営体制の見直しの推進
  - ◎課題
    - 電子図書など新たなサービスや高度化するICTへの対応
    - 施設設備の計画的な改修
    - 図書館登録率の増加
- (2) 第2次宇都宮市子ども読書活動推進計画**
  - ◎成果
    - 子どもの読書量の維持・増加
      - \*小中学生の1か月の読書量(H24) 中核市トップクラス
      - 小学生28.5冊(10.5冊)、中学生9.2冊(4.2冊) (内は全国平均)
  - ◎課題
    - 地域ぐるみの子ども読書活動の推進
    - 高校生の読書活動の推進

### 3 市民の意識

- 図書館利用目的は調べものや情報入手のため(50.6%)
- 図書館に望むことは、調べたいことがわかる本があること(80.5%)
- 図書館サービスで使ったことがあるのは、本の在庫調査や調べものの相談(73%)

### 4 今後の市民の読書活動推進に向けた課題

- (1) あらゆる市民の読書活動の充実**
  - 高校生や大人の読書活動の推進
- (2) レファレンス・課題解決型サービスの更なる強化**
  - レファレンスに的確に対応できるレファレンスツールの充実
  - 地域の課題解決に役立つ情報を収集提供することによる人づくり・まちづくり活動の支援
  - レファレンスに対応できる司書の能力向上
- (3) 子どもの読書活動の推進**
  - 小中学校への読書支援の継続
  - 高校生への読書推進事業の充実
  - ボランティアの人材育成
  - 特別支援学校などとの連携
- (4) ICTの導入促進と電子情報サービスの充実**
  - データベースなどによる情報提供の充実
  - デジタルアーカイブの推進
  - 電子図書等、新たな媒体の導入検討

### (5) 図書館の環境整備と適切な図書館運営

- 図書館サービスを、市民に広くPRするなど、更なる利用の促進
- 快適で誰もが利用しやすい施設への再整備
- 中央館機能の向上や他機関との連携など、効果的・効率的な管理運営体制の充実

## III 基本的な考え方

### 基本理念

「市民や地域の課題解決支援やICTへの対応など、読書環境の整備を図るとともに、子どもを含めた市民の読書活動を推進します。」

### 基本目標

- 1 多様な図書館サービスを利用するなど、あらゆる市民が読書活動に親しんでいます。**
  - 基本指標1 図書館資料の貸出冊数  
4,566,016点(H23) ⇒ 5,000,000点(H29)
  - 基本指標2 図書館の登録率  
33.1%(H23) ⇒ 34.6%(H29)
- 2 図書館、地域、学校の連携のもと、宮っ子が読書活動や学習活動に励んでいます。**
  - 基本指標3 高校生の1か月の読書量  
1.4冊(H23) ⇒ 2冊(H29)
  - 基本指標4 子どもの読書に関わるボランティアの活動人数  
1,236人(H24) ⇒ 1,600人(H29)
- 3 個人や団体、地域がそれぞれの課題を解決するために、図書館サービスを利用しています。**
  - 基本指標5 レファレンスに対する利用者満足度  
52.6%(H23) ⇒ 62.6%(H29)
- 4 市民が高度情報化に対応した資料や設備を利用し、ニーズに応じたデジタル情報を活用しています。**
  - 基本指標6 図書館のインターネット端末の利用件数  
21,305件(H23) ⇒ 30,000件(H29)
- 5 図書館の適切な環境整備と運営により、市民が快適に図書館を利用しています。**
  - 基本指標7 図書館の読書環境に関する利用者満足度  
82.0%(H23) ⇒ 85%(H29)

## IV 具体的方策

### 基本施策1 市民の読書活動の推進

- 施策1 さまざまな市民の読書活動の推進**
- ◎★読書活動ガイドブックの作成・配布
    - 図書館祭りの開催
    - ★読書活動の啓発事業の実施
    - ★カフェトーク(合同読書会)の開催
    - ビブリオバトル(知的書評合戦)の実施
  - ◎ センター図書室等の地域性や利用者層に合ったサービスの提供
    - さまざまな利用者への情報提供の充実
    - 電子情報等への対応
- 施策2 子どもの読書活動の推進**
- 妖精ミュージアムにおける絵本の読み聞かせ
  - 「家読(うちどく)」の推進
  - 親学情報誌の発行
  - ★読書活動の啓発事業の実施(再掲)
  - 子どものためのレファレンスや調べ学習への支援
  - 「うつのみやこども賞」事業の実施
  - ◎ 学校図書館・読書活動の充実
    - 学校図書館の整備・充実
    - 学校図書館司書業務嘱託員等の育成
    - 図書館と学校図書館の連携の充実
  - ◎ 高校生ボランティアによる中・高校生対象のサービスへの参画
    - 高校生の本や読書に関する情報交換・発信事業の実施
    - ★「高校生のための読書推進講座」の実施
    - 子どもや中・高校生(ヤングアダルト)向け図書館ホームページの充実
    - ★まちかどの学校・つげの木教室、とらいあんぐる(教育センター)へのサービスの実施
  - ◎ 読み聞かせボランティア育成事業の強化

### 基本施策2 レファレンス・課題解決型サービスの強化

- ◎ 地域資料・情報の収集と提供の充実
- ◎ 科学・技術・ビジネス情報提供サービスの充実
  - 宇都宮プロスポーツアーカイブ事業の充実
  - ★宇都宮のアグリビジネスブランド化への支援
- ◎ 子育て・家庭生活支援情報の充実

### 基本施策3 ICTの推進や電子情報の提供

- ◎ 図書館情報システムの更新
- ◎ 図書館におけるICT環境の整備

### 基本施策4 適切な図書館運営や環境の整備

### 基本施策5 効果的・効率的な管理運営体制の充実

- ◎ 管理運営体制の充実
  - 司書の専門性を発揮できる職員体制の整備
  - 自主財源確保に向けた取組の充実

### 基本施策6 施設の再整備の計画的な推進

- ★図書館施設の改修・機能向上事業の推進

- ◎: 重点事業
- ★: 新規事業
- : 継続・拡充事業

## V 計画の推進

- 1 計画の進行管理** 事業の取組状況について、基本指標により進行管理を実施するとともに、進捗状況については、「社会教育委員の会議」や「参考人」へ報告し、意見を聴取する。
- 2 計画の推進体制** 本計画の着実な推進を図るため、施策・事業の実施にあたっては、図書館、生涯学習センター図書室等、さらに市民、家庭、学校等が連携することにより、様々な事業に取り組む。

## 平成28年度第1回 図書館事業に係る意見交換会について

1 日時 平成28年6月29日(水) 午後2時55分～午後4時5分

2 場所 宇都宮市立中央図書館

3 出席者 参考人8人(関係機関3人, 学識経験者2人, 関係団体2人, 利用者1人)

## 4 議事

- ・ 「宇都宮市読書活動推進計画」に基づく, 平成27年度の事業実績について

## 5 主な意見等

- ・ ヤングアダルト向けホームページの充実について, 中高生はパソコンではなくスマホを使っているが, 図書館ホームページのスマホへの対応はどうなっているのか。また, 図書館情報システムの更新について, これは図書館内部のシステムのことなのか。利用者向けのシステムはどうなるのか。

- 更新するシステムは, 内部のみではなく利用者向けと一体のシステムである。システムを導入した当時はスマホという物はなかったが, 今回の更新では対応を考えていく。

- ・ 障害者差別解消法が施行されたが, 県立図書館も施設が古いので対応に苦慮しているが, 市立図書館ではどうか。

- 今年度は, 「広報うつのみや」の5月号で, 図書館における障がい者サービスについてPRした。

- ・ 小学校の立場からすると, 巡回図書はありがたい。

- ・ 高校からの視点で見ると, 高校生ボランティアが80名というのは, これまでの取組が定着していると感じる。

- ・ 28年度の重点事業として「高齢者向けコーナーの充実及び事業の実施」とあり, 「ロングライフコーナーの充実及び高齢者向け音読教室の実施」とあるが, 具体的にはどのようなものなのか。

- ロングライフコーナーは, 今年2月に設置した。従来は大活字本を中心にしていたが, 他に老後の不安解消に役立つような健康や相続に関する図書をテーマ別に置いている。今後は, テーマを増やし充実する予定である。音読教室は, 今年度から実施するもので, 昔話やわらべうたを声に出して読むことが認知症予防に有効であることから実施するが, 高齢者同士の交流の場となることも期待している。



第1章 計画の概要

【1 策定に当たって】

本計画は、前計画の評価と文化を取り巻く環境と市民ニーズの変化を踏まえ、市民が宇都宮ならではの貴重な文化に気付き、誇りと愛着を感じ、豊かに暮らすことができる社会の実現を目的に策定するもの

【2 文化振興の意義と文化の範囲】

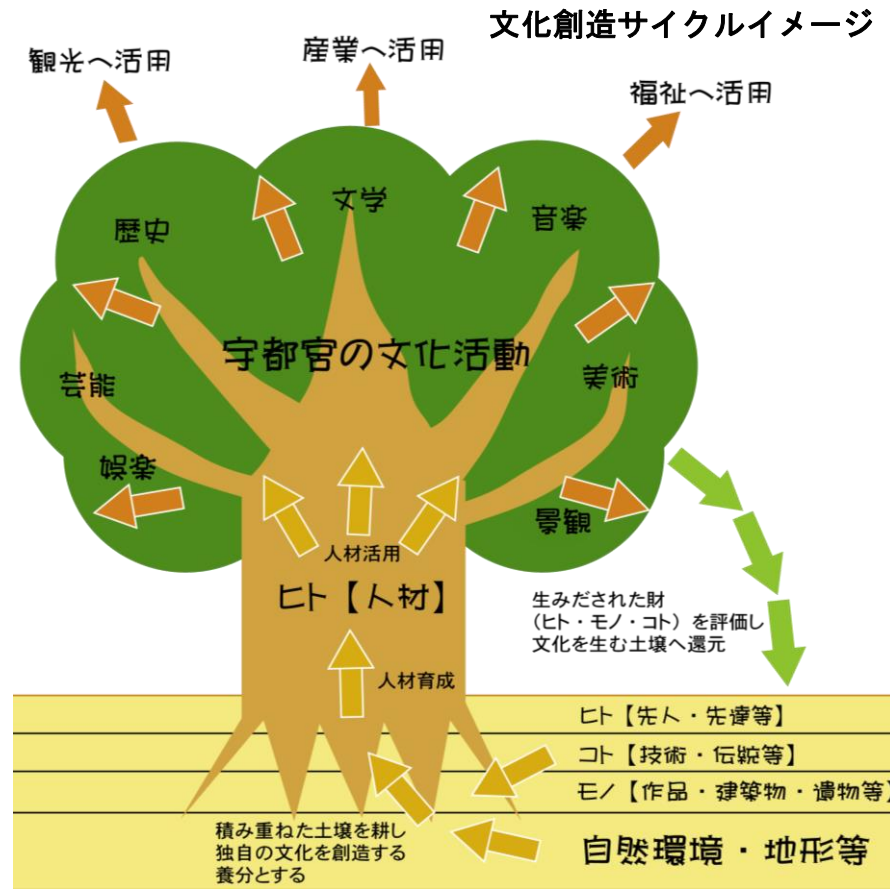
文化は豊かな人間性と創造性を育み、人と人とを結び付け、絆を強めるなど、地域の豊かな発展等への波及効果が高い、市民が共有・継承すべき公共財である。本計画では文化に対する理解促進のため、「文化創造のサイクルイメージ」を設定するとともに文化の範囲を示すこととする。

【3 計画の位置付け】

本計画は文化課を始め市内各課で実施している個別事業を文化振興の観点から関連付けし、総合的かつ効果的に施策の方向性を示すもの。また、文化芸術振興基本法、宮っこ未来ビジョンを踏まえるとともに、第5次宇都宮市総合計画基本計画に掲げる基本施策「個性的な市民文化・都市文化を創造する」を実現する計画

【4 計画期間】

平成28年度から平成37年度までの10か年計画とし、必要に応じ、随時見直す。



第2章 文化を取り巻く環境の動向

1 社会情勢

▽価値観の多様化▽少子高齢化の進展と活力ある地域づくり▽グローバル化の進展▽高度情報化社会の到来▽環境意識の高まり

2 国の動向

・「文化芸術振興基本法」公布・施行(H13)  
 ・「第4次文化芸術に関する基本的な方針」閣議決定(H27)  
 ⇒ オリンピック・パラリンピックを見据え、まちづくり・観光など周辺領域への波及効果を視野に入れた文化振興を促進

3 県の動向

・「文化振興基本条例」(H20年)、「文化振興基本計画」(H21年)

4 市のまちづくりの動向・文化の位置付けと文化振興の役割

・『総合計画』、『宮っこ未来ビジョン』、『ネットワーク型コンパクトシティ形成ビジョン』、『まち・ひと・しごと創生総合戦略』における文化の位置付けと役割を整理

■本市の文化振興に求められる役割

- ①創造できる人づくり
- ②都市の個性づくりと発信
- ③魅力ある拠点の創造

5 宇都宮の文化の特色と歩み

・「内陸の交流都市」として発展してきた本市の歩みを整理し、長年の積み重ねにより形成された本市の豊かな文化的環境を把握

第3章 本市の文化の現状と課題

1 宇都宮市の現状

▽本市の歴史と伝統▽生活文化の継承▽文化と支える人々の存在▽質の高い芸術文化に触れ、学ぶことが出来る環境

2 前計画(H18~H27)の評価

基本方針Ⅰ 自主的な文化芸術活動を展開しやすい環境づくり

⇒文化活動をしている市民の割合が目標8割に届かなかった。(実績63.9%※1)

基本方針Ⅱ 文化遺産・伝統文化などを活かし伝える仕組みづくり

⇒文化財保存団体数が目標を上回ったが、高齢化などにより担い手不足が指摘されている。(実績52団体)

基本方針Ⅲ 文化資源を活用した宇都宮の特色づくり

⇒文化に個性や魅力を感じている市民の割合が目標の5割に届かなかった。(実績26.2%)「分からない」との回答が半数以上いた。

3 市民アンケート結果(H26実施、前回調査H21)

- ・1年間に文化芸術の鑑賞・見学をした市民は前回調査から横ばい
- ・文化芸術活動を行った市民は前回調査よりも減少
- ・「子どもが芸術に親しむ機会の充実」「子どもが文化財や地域の伝統芸能に親しむ機会の充実」が必要
- ・文化情報の発信に不満を持つ人が多い。
- ・宇都宮の歴史や文化を知らない市民が多い。

4 今後重点的に取り組むべき課題

課題1 市民の文化体験及び活動のための環境づくりや情報発信の充実

- ・市民の「文化鑑賞」等が停滞気味にある状況が見受けられるため、市民がくらしの中で文化の活動などに取り組めるよう、気軽に鑑賞や活動などができる環境づくりが必要
- ・オリンピックなど、国内外へ情報を発信する好機に恵まれており、文化情報の発信に関する市民ニーズが高い状況にあり、宇都宮の誇るべき文化や様々な文化活動情報等に、市民等が自在に触れることができる、情報発信の充実が必要

課題2 文化を支え、担える人材の育成・活用

- ・文化は創造性などの豊かな感性や地域社会の連帯意識などを養う力を持った「公共財」であり、この文化に、子供が親しむ機会を充実させる必要性に関する市民意識は高い状況にあります。
- ・文化を支え・担う人材の育成を推進し、創造性や社会性、世界的な視野などを備えた人材や地域の文化財や伝統芸能を守り伝えている人材を育成が必要

課題3 誇りとなる「宇都宮文化」の創造・継承

- ・本市は、魅力的な歴史や多様な文化的資源など豊かな文化的環境を有しているものの、「宇都宮の文化が分からない」という市民の意見が多く聞かれる状況にあります。
- ・本市の多様な文化的資源の調査や評価・再評価を進め、その価値を市民に分かりやすい「カタチ」で表現していくとともに、本市の文化を構成する重要な要素である文化財などを、次世代に引き継いでいくことが必要

課題4 文化の力の活用(文化を通じた人と人の絆の強化)

- ・文化は、豊かな人間性と創造性を育み、人と人とを結び付け、絆を強めるもの、さらには成熟社会における成長の源泉となり、地域の豊かな発展や多方面の分野への波及効果が高い公共財です。
- ・文化が、まちづくり・観光など周辺領域への波及効果を視野に入れ、その効用が、本市の様々な分野で生かされ、都市全体の活性化につながるよう、他分野と連携したまちづくりの推進が必要

第4章 文化振興の基本理念と基本方針

■基本理念

くらしの中に文化が息づくまち 宇都宮  
 ~豊かな文化を感じ、未来につなぐ~

■基本方針

Ⅰ文化を身近に感じ、活動できる環境づくりの推進

市民が日頃のくらしに文化を取り入れ、文化活動を行っていくために、文化芸術に触れる場を充実させていくほか、発表・活動の環境や文化芸術を学べる環境を充実させるとともに、情報発信機能の充実など、市民が様々な文化情報を得やすい環境を整備することにより、市民が文化を身近に感じ、気軽に活動できる環境づくりを推進する。

| 指標     | 文化・芸術を鑑賞・見学をした市民の割合 |        |                 | 設定理由 |
|--------|---------------------|--------|-----------------|------|
| 平成21年度 | 平成26年度              | 平成37年度 |                 |      |
| 77.4%  | 79.3%               | 90%    | 1年間で約1%の増加を見込む。 |      |

Ⅱ文化をつなぐ人材育成の推進

文化を創造・継承する人材を、持続的に育成していくために、文化を先導する人材の育成や担い手の育成のほか、地域で育む伝統や生活文化を守り・伝える団体の育成支援を進めることにより、文化をつなぐ人材の育成を推進する。

| 指標     | 文化活動をしている市民の割合 ※2 |        |                               | 設定理由 |
|--------|-------------------|--------|-------------------------------|------|
| 平成21年度 | 平成26年度            | 平成37年度 |                               |      |
| 43.3%  | 39.7%             | 50%    | 計画期間内に市民の半分が文化芸術活動に関わることを見込む。 |      |

Ⅲ宇都宮文化の創造・継承の推進

市民が宇都宮の文化を知り、故郷に誇りと愛着を感じるために、地域文化に関する調査研究を進め、その評価及び再評価を行うとともに、次世代に引き継ぐべき新たな文化の創出を推進する。また、これまで積み重ねられた地域文化について把握・整理を進め、次世代の文化創造に資するよう、保存・継承を推進する。

| 指標     | 宇都宮の文化を誇りに感じる人の割合 |        |                             | 設定理由 |
|--------|-------------------|--------|-----------------------------|------|
| 平成21年度 | 平成26年度            | 平成37年度 |                             |      |
| —%     | —%                | 60%    | 国の文化芸術の振興に関する基本的な方針の成果指標に準拠 |      |

Ⅳ文化を活用したまちづくりの推進

文化が、まちづくりの力として生かされるよう、地域の魅力づくりへの活用や絆づくりへの活用を推進するとともに、交流を生む文化の力を活かした、多文化共生や国際交流の推進に取り組むことにより、文化を活用したまちづくりを推進する。

| 指標     | 文化資源を目的に宇都宮に訪れた人の割合 |        |                 | 設定理由 |
|--------|---------------------|--------|-----------------|------|
| 平成22年度 | 平成26年度              | 平成37年度 |                 |      |
| 11.2%  | 11.9%               | 20%    | 1年間で約1%の増加を見込む。 |      |

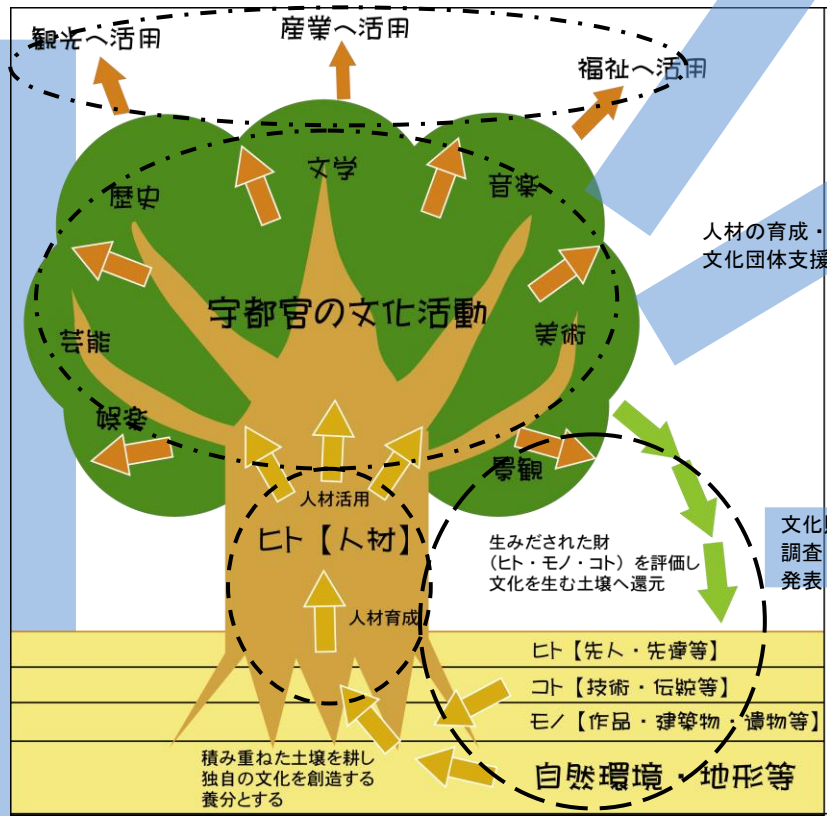
※1 文化活動者及び一般市民の合算とした割合

※2 前計画基本方針Ⅰのアンケート母数を一般市民からの無作為抽出に変更

展開

**【基本理念】**  
**くらしの中に文化が息づくまち 宇都宮**  
**～豊かな文化を感じ、未来につなぐ～**

**【文化創造のサイクル】**



《文化振興の課題》

①市民の文化体験及び活動のための環境づくりや情報発信の充実

②文化を支え、担える人材の育成・活用

③誇りとなる「宇都宮文化」の創造・継承

④文化の力の活用(文化を通じた人と人の絆の強化)

**基本方針1 文化を身近に感じ、活動できる環境づくりの推進**

| 基本施策                      | 施策                     | 施策の方向性                   | 新規   | 重点   | NO.  |
|---------------------------|------------------------|--------------------------|------|------|------|
| 文化を身近に感じ、気軽に活動できる環境づくりの推進 | 文化に触れる場の充実             | 文化会館・美術館での鑑賞機会の充実        |      | ★    | A1-1 |
|                           |                        | ジャズのまち事業の推進              |      |      | A1-2 |
|                           |                        | 文化財公開施設を活用した周知啓発事業の促進    |      |      | A1-3 |
|                           |                        | 図書館における文化情報の周知啓発の促進      | ◎    |      | A1-4 |
|                           |                        | 歴史・文化の周知啓発事業の推進          |      |      | A1-5 |
|                           | 発表・活動環境の充実             | 市民芸術祭・ジュニア芸術祭の推進         |      | ★    | A2-1 |
|                           |                        | 百人一首事業の推進                |      |      | A2-2 |
|                           |                        | 身近な場を活用した新たな文化活動の発表の場の創出 |      |      | A2-3 |
|                           |                        | 民間施設との連携・活用の検討           |      |      | A2-4 |
|                           |                        | 青少年の発表機会の創出              |      |      | A2-5 |
| 学びの機会の充実                  | 障がい者の発表機会の創出           |                          |      | A2-6 |      |
|                           | 地域文化祭の推進               |                          |      | A2-7 |      |
|                           | 文化創造財団による講座の推進         |                          | ★    | A3-1 |      |
|                           | 生涯学習センターでの文化・教養関係講座の推進 |                          |      | A3-2 |      |
|                           | 宇都宮市民大学の推進             |                          |      | A3-3 |      |
| 文化情報の収集・発信機能の充実           | 高齢者の学びの機会の促進           |                          |      | A3-4 |      |
|                           | 文化情報の収集・発信機能の強化        | ◎                        | ★    | A4-1 |      |
|                           | ホームページを活用した情報発信の推進     |                          |      | A4-2 |      |
|                           | ICTを活用した情報発信の推進        | ◎                        |      | A4-3 |      |
|                           | パブリシティによる情報発信の強化       |                          |      | A4-4 |      |
| 文化芸術団体の情報発信の支援の強化         | ◎                      |                          | A5-1 |      |      |
|                           |                        | ウェブを活用した文化団体情報の発信強化      |      |      |      |

**基本方針2 文化をつなぐ人材育成の推進**

| 基本施策                      | 施策              | 施策の方向性                      | 新規 | 重点   | NO.  |
|---------------------------|-----------------|-----------------------------|----|------|------|
| 文化を先導する人材の育成促進及び活躍の場の創出   | 文化を先導する人材の育成支援  | 若手芸術家の育成の促進(宇都宮エスベール文化振興事業) |    | ★    | B1-1 |
|                           |                 | 身近に学べるマッチング事業の支援            | ◎  |      | B1-2 |
|                           | 文化活動者の活躍促進      | ◎                           |    | B1-3 |      |
| いきいきと文化活動に取組む人材育成の推進      | 芸術家の発表、交流活動の支援  | 芸術家の発表・交流活動の支援              |    |      | B2-1 |
|                           |                 | 文化会館の利用団体・演奏家との連携事業         |    |      | B2-2 |
|                           | 児童・生徒の育成の推進     | ◎                           | ★  | B3-1 |      |
| 地域の文化を守り伝える人材や団体の育成・支援の推進 | 幼児の育成の推進        | 保育所等における文化の学習機会の充実          |    |      | B4-1 |
|                           |                 | 宇都宮伝統文化(ふるさと)継承事業の推進        |    |      | B5-1 |
|                           | 多様な世代の育成の推進     | ◎                           |    | B5-2 |      |
| 市民ボランティアの育成・支援            | 文化ボランティア養成講座の開催 | 文化ボランティア養成講座の開催             |    |      | B6-1 |
|                           |                 | 市民ボランティア団体の育成・支援            |    | ★    | B7-1 |
|                           | 文化団体の育成・支援      | ◎                           |    | B7-2 |      |
|                           |                 | 文化活動団体への支援(補助金等)及び連携強化      |    |      |      |

**基本方針3 宇都宮文化の創造・継承の推進**

| 基本施策           | 施策                       | 施策の方向性                 | 新規 | 重点   | NO.  |
|----------------|--------------------------|------------------------|----|------|------|
| 宇都宮文化の評価・創出の推進 | 歴史・文化の評価・創出の推進           | 新たな歴史・文化の再評価・再発見       |    |      | C1-1 |
|                |                          | 史跡等整備の推進               |    | ★    | C1-2 |
|                |                          | 日本遺産認定への取組             | ◎  | ★    | C1-3 |
|                | ゆかりの人物等の評価の推進            | 宇都宮市民遺産認定制度の創設         | ◎  |      | C1-4 |
|                |                          | 新市史編さん事業への取組           | ◎  |      | C1-5 |
|                |                          | 調査研究活動の強化              | ◎  |      | C1-6 |
| 宇都宮文化の保存・継承の推進 | 文化財等の保存・継承               | 本市にゆかりの芸術家を活用した普及啓発の推進 |    | ★    | C2-1 |
|                |                          | うつのみや市民賞の推進            |    |      | C2-2 |
|                |                          | まちなみ景観事業の推進            |    |      | C3-1 |
|                | 景観・まちなみの評価・創出の促進         | うつのみや百景事業の推進           |    |      | C3-2 |
|                |                          | 景観形成重点地区等の指定の推進        |    |      | C3-3 |
|                |                          | 多気城跡の保存に向けての調査の推進      |    |      | C4-1 |
| 文化財等の保存・継承     | 史跡・名勝・天然記念物等の保存          |                        |    | C4-2 |      |
|                | 文化財の収蔵・蓄積の基盤整備           |                        |    | C4-3 |      |
|                | 文化財保護法に基づく歴史的建造物の保護の推進   |                        | ★  | C4-4 |      |
| 景観保全の促進        | 文化財に価値のある歴史的建造物の保全・活用の促進 | ◎                      | ★  | C5-1 |      |
|                | 大谷の文化的景観保存活用事業の推進        |                        |    | C5-2 |      |
|                | 大谷・多気地区美観事業の推進           |                        |    | C5-3 |      |
| 多様な豊かな自然環境の保全  | 文化財を通じた自然環境理解の促進         | ◎                      |    | C6-1 |      |
|                | 自然環境の把握と周知啓発の推進          | ◎                      |    | C6-2 |      |

**基本方針4 文化を活用したまちづくりの推進**

| 基本施策               | 施策                      | 施策の方向性                      | 新規 | 重点   | NO.  |
|--------------------|-------------------------|-----------------------------|----|------|------|
| 地域の魅力づくりへの活用の推進    | 観光への活用                  | 文化を活用した観光の振興                |    |      | D1-1 |
|                    |                         | 文化資源を取り入れた地域イベントへの支援        |    |      | D1-2 |
|                    | 地域活性化への活用               | 【再掲】景観上価値のある歴史的建造物の保全・活用の促進 | ◎  | ★    | D2-1 |
|                    |                         | 文化資源を活用した集客交流の促進            |    | ★    | D2-2 |
|                    |                         | ジャズのまち活性化事業の推進              |    |      | D2-3 |
| 絆づくりへの活用の推進        | 地域や学校における地域文化財活用事業の推進   | 妖精資料活用事業の推進                 |    |      | D2-4 |
|                    |                         | 城址公園を活用した文化・歴史を伝える事業の推進     |    |      | D2-5 |
|                    | 【再掲】芸術・伝統文化関連講座の実施      | 地域学講座の推進                    | ◎  |      | D3-1 |
|                    |                         | 地域学講座の推進                    | ◎  |      | D3-2 |
|                    |                         | 地域学講座の推進                    | ◎  |      | D3-3 |
| 企業・産業や大学等との絆づくりの推進 | 伝統工芸や地場産業との連携の推進        |                             |    | D4-1 |      |
|                    | 企業等と連携した文化振興事業の推進       | ◎                           |    | D4-2 |      |
|                    | 大学や研究機関との連携による文化振興事業の推進 |                             |    | D4-3 |      |
| 多文化共生や国際交流の推進      | 多文化共生や国際交流の推進           | 多文化共生フォーラムの開催               | ◎  |      | D5-1 |
|                    |                         | 姉妹都市との文化芸術交流の推進             |    |      | D5-2 |
|                    |                         | 国際理解講座の実施                   | ◎  |      | D5-3 |
|                    |                         | 文化施設等を活用した文化交流の推進           | ◎  | ★    | D5-4 |

## 第5章 文化施策の展開方向

基本方針一

**基本施策1** 文化を身近に感じ、気軽に活動できる環境づくりの推進

**基本施策2** 文化情報の収集・発信機能の充実

基本方針二

**基本施策1** 文化を先導する人材の育成促進及び活躍の場の創出

**基本施策2** いきいきと文化活動に取り組む人材育成の推進

**基本施策3** 地域の文化を守り・伝える人材・団体の育成・支援の推進

基本方針三

**基本施策1** 宇都宮文化の評価・創出の推進

**基本施策2** 宇都宮文化の保存・継承の推進

基本方針四

**基本施策1** 地域の魅力づくりへの活用の推進

**基本施策2** 絆づくりへの活用の推進

**基本施策3** 多文化共生や国際交流の推進

より効果的に施策を展開

## 第6章 文化施策推進プロジェクト

より効果的に施策を推進するため、複数の施策の方向性を横断的に結合させ、戦略的に推進する文化振興プロジェクトを設定することでより効果的な事業展開を図るもの

【project1】～創造できる人づくりのために～  
市民と宇都宮の文化をつなぐ「うつのみや文活プロジェクト」

【project2】～都市の個性づくりの発信と魅力ある拠点創出のために～  
「文化遺産を活用した宇都宮活性化プロジェクト」

## 第7章 計画を推進するために

### ●協働による文化芸術の振興

市民、団体等、芸術家、教育機関、企業、(公財) うつのみや文化創造財団、市がそれぞれの役割の下、主体的に活動に取り組む。

### ●計画の進行管理

前計画より引き続き庁内推進委員会の継続設置。計画の進行管理を行う。また、プロジェクトの検討は同推進委員会の下部組織である専門部会で実施

【project1】～創造できる人づくりのために～  
市民と宇都宮の文化をつなぐ「うつのみや文活プロジェクト」

### 【目的】

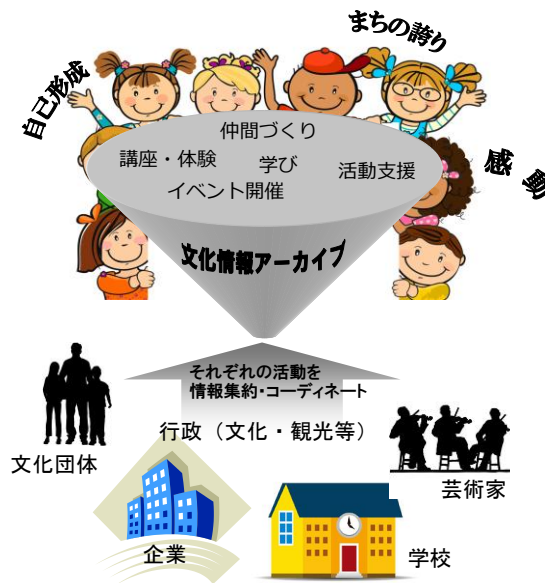
市民アンケート調査により文化への関心が大きく減少している現状を踏まえ、市民が身近にある文化に気付き、新しい文化芸術活動にチャレンジする機会をより当たり前のこととなる環境づくりに取り組み、市民一人一人の成長を促すプロジェクト

### 【取組の方向性】

- ・ふれあい文化教室等の拡充や地域学校園との連携による未就学児等の参加促進など、文化に触れる機会の多様化を推進する。
- ・市民の文化活動の成果を積極的に発表できる機会として、市民芸術祭・ジュニア芸術祭を推進する。
- ・歴史、文化、芸術等に係る講座やイベント等を、体系的に整備・拡充し、既存広報媒体や民間事業者との連携などにより、それらの情報を効果的に発信する仕組みをつくる。
- ・大学・専門学校等の人材を活用し、新たな文化事業の企画など、若手アーティストの発表機会の創出や活動支援を促進する。
- ・企業や個人からの寄付を受入れ、社会全体で文化事業の活性化を推進していく仕組みづくりを、文化創造財団を中心に推進する。

### 【構成施策】

| NO.   | 施策の方向性                   | 重点 | 所管課             |
|-------|--------------------------|----|-----------------|
| B 3-1 | 芸術・伝統文化関連講座の推進           | ★  | 文化課             |
| A 2-1 | 市民芸術祭・ジュニア芸術祭の推進         | ★  | 文化課             |
| A 3-1 | 文化創造財団による講座の推進           | ★  | 文化課             |
| C 2-1 | 本市ゆかりの芸術家を活用した普及啓発の推進    | ★  | 文化課             |
| A 3-2 | 生涯学習センターでの文化・教養関係講座の推進   |    | 生涯学習課           |
| D 3-1 | 地域や学校における地域文化財活用事業の推進    |    | 文化課             |
| B 4-1 | 保育園等における文化の学習機会の充実       |    | 保育課             |
| B 1-2 | 身近に学べるマッチング事業の支援         |    | 文化課、生涯学習課、学校教育課 |
| B 1-3 | 文化活動者の活躍促進               |    | 文化課             |
| B 2-2 | 文化会館の利用団体・演奏家との連携事業      |    | 文化課             |
| A 2-3 | 身近な場を活用した新たな文化活動の発表の場の創出 |    | 文化課             |
| A 2-4 | 民間施設との連携・活用の検討           |    | 文化課             |
| B 5-2 | 企業や文化振興財団等による助成事業の活用     |    | 文化課             |
| D 4-2 | 企業等と連携した文化振興事業の推進        |    | 文化課             |
| D 4-3 | 大学や研究機関との連携による文化振興事業の推進  |    | 文化課             |



【project2】～都市の個性づくりの発信と魅力ある拠点創出のために～  
「文化遺産を活用した宇都宮活性化プロジェクト」

### 【目的】

市民が本市の歴史・文化財及び自然環境に親しみ、郷土への理解を深めるとともに、貴重な資料等を次世代へ引き継ぐために、文化財等の調査・評価・保全に取り組むとともに、本市を象徴する大谷石等の文化遺産の価値を分かりやすく表現するストーリーを創出し、国内外に発信することにより、文化財への理解、地域の活性化を促進するプロジェクト

### 【取組の方向性】

- ・歴史文化基本構想の策定を進め、発信力の強化を促進するため、文化庁が創設する「日本遺産」への認定に取り組む。
- ・新市史編纂事業など文化資源の調査・研究を進めるとともに、それらの資料等の収集・蓄積等の保存の在り方について検討を進める。
- ・本市独自の景観を創り出す大谷石建造物等について、景観上の重要性を普及啓発するとともに、その保全と活用の促進に取り組む。
- ・文化遺産の価値を広く発信するために、ICTを活用した情報を発信し、国内外を視野に入れた観光の振興に取り組む。
- ・まちなかに、広域的な文化情報の発信機能や既存の文化施設(「サテライト」)を結び付ける機能を持つ文化情報交流拠点(「コア」)の形成に向けた検討を進める。

### 【構成施策】

| NO.   | 施策の方向性                  | 重点 | 所管課       |
|-------|-------------------------|----|-----------|
| C 1-3 | 日本遺産認定への取組(歴史文化基本構想の策定) | ★  | 文化課       |
| C 4-4 | 文化財保護法に基づく歴史的建造物保存事業の推進 | ★  | 文化課       |
| C 5-1 | 景観上価値のある歴史的建造物の保全・活用の促進 | ★  | 都市計画課     |
| C 1-2 | 史跡等整備の推進                | ★  | 文化課       |
| C 1-4 | 宇都宮市民遺産認定制度の創設          |    | 文化課       |
| A 3-2 | 生涯学習センターでの文化・教養関係講座の推進  |    | 生涯学習課     |
| A 4-3 | ICTを活用した情報発信の推進         |    | 文化課       |
| C 1-5 | 新市史編さん事業への取組            |    | 行政経営課、文化課 |
| C 4-1 | 多気城跡の保存に向けての調査の推進       |    | 文化課       |
| C 4-3 | 文化財の収集・蓄積の基盤整備          |    | 文化課       |
| D 1-1 | 文化を活用した観光の振興            |    | 観光交流課     |
| D 2-5 | 城址公園を活用した文化・歴史を伝える事業の推進 |    | 公園管理課     |



## 平成 28 年度栃木県社会教育委員協議会評議員の選出について

栃木県社会教育委員協議会会則第 9 条に基づき、本市社会教育委員の会議から 1 名の委員を選出することとなっている。

- 1 役 割 県及び市町村の社会教育委員相互の緊密な連携を図り、県社会教育の振興に寄与することを目的として、社会教育委員の研修、調査等の事業を実施する。
- 2 任 期 1 年
- 3 選出委員 評議員 1 名

評議員：\_\_\_\_\_

## 「うつのみや人づくり推進委員会」への委員の推薦について

社会総ぐるみによる人づくりの推進を図るため、学校、家庭、地域、企業の各関係団体等から推薦された 2 2 名の委員により構成する委員会。

- 1 役割 「うつのみや人づくりフォーラム」に関すること及び、各団体間の連携促進に関すること、社会総ぐるみによる人づくりの機運醸成に係る審議等を行う。
- 2 任期 1年
- 3 推薦委員 1名

推薦委員：

---